

バスケでみんなが 元気になれる街をめざして



能代市バスケの街づくり推進計画

平成24(2012)年度～平成33(2021)年度

バスケを核に地域振興を

この度の計画策定にあたって、長期間にわたりご検討いただいたバスケの街づくり推進会議委員の皆様をはじめ、基礎調査や推進会議運営にご協力いただいた慶應義塾大学研究室「スポーツの街プロジェクト」の皆様、基礎調査のヒアリングや実態調査にご協力いただいた関係各位、そして、ご意見やご提言をお寄せいただくなど計画策定にご参加いただいたすべての方々に対し、心より感謝を申し上げます。



能代市は、平成元年度からバスケの街づくり事業に取り組んでおり、15年度からは「新バスケの街のしろ推進計画」を進めてまいりました。

これまで、能代市総合体育館や能代山本スポーツリゾートセンター「アリナス」、二ツ井町総合体育館建設などのハード整備のほか、昭和63年からスタートした能代カップへの支援、ミニバスケットボールの交流大会やクリニック、指導者講習会の開催、また、各種大会への助成や若手職員によるバスケ動画の配信などを行ってまいりました。

こうした取組により、一定の成果は得られたものの、能代工業高校バスケットボール部の功績に頼り過ぎていたことから、改めて「バスケの街づくり」のあり方を見直し、新たな計画を策定したものであります。

バスケの街としての能代の知名度は全国的に高く、市のまちづくりの目玉の一つでありますので、市全体で盛り上げていくことが大事であり、地域の皆様とともに考え、連携を図りながら進めていく必要があると考えております。

本計画では、バスケを核に地域振興を図り、能代に元気を！そして、能代から元気を！という思いを込め、「バスケでみんなが元気になれる街」を街づくりのビジョンといたしました。街中がバスケであふれ、名実ともに「バスケの街能代」となるよう新たな推進計画のスタートを切ります。

より一層のご支援とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成24年3月

能代市長 齊 藤 滋 宣

目 次

I. 基本的事項

1. 計画策定の経緯と趣旨	1
2. 策定にあたっての視点	1
3. 計画の位置付け	2
4. 計画の名称と期間	2
5. 計画の構成	2

II. 基本計画

1. 街づくりのビジョン	3
2. 街づくりのゴール	3
3. 街づくりの取組	6
(1) 本物のバスケットに触れられること	8
(2) バスケットで誰でも集えること	12
(3) バスケットで地域が潤えること	15
(4) バスケットが街なかで感じられること	18
(1)~(4)共通	21

III. 計画の推進

1. 取組の効果的な展開	22
2. 計画の点検と推進	22
3. 市の推進体制	22

○資料編

I. 計画策定の経過	23
II. 計画の策定体制	24
III. (仮称)能代市バスケットの街づくり推進計画の策定に関する提言書	25
IV. 「バスケットの街づくり」新計画の方向性の検討結果	32
V. 新バスケットの街のしろ推進計画検証の目安となる指標	36
VI. 能代バスケットボール LIBRARY & MUSEUM「インターハイ特別展示」 アンケート調査結果	41
VII. 能代でのバスケットボール強化合宿に関するアンケート調査結果	47

I. 基本的事項

1. 計画策定の経緯と趣旨

能代市には、昭和42年度の埼玉国体で全国初制覇を成し遂げて以来、これまで58回の全国制覇を誇る能代工業高校バスケットボール部があります。「バスケの街能代」は、この能代工業高校バスケットボール部の強さに由来しています。

市では、平成元年度から、バスケの街づくり事業に取り組んでおり、バスケットボールを核にあらゆるスポーツの振興を図り、「誇りと愛着の持てるふるさとの構築」をめざしてきました。

また、平成15年度から、「新バスケの街のしろ推進計画」をスタートさせ、「みんなのチカラで“きらりと光るバスケの街”」を基本姿勢に、競技人口の拡大や能代カップ等への支援、教室・大会の開催や情報発信などの取組を進めてきました。

平成18年の市町合併後も計画は引き継がれましたが、市の最上位計画である能代市総合計画が平成20年度からスタートし、社会経済情勢や市民ニーズなども変化してきました。

本市のバスケットボールを取り巻く状況にも変化がみられ、平成19年度の秋田わか杉国体の開催や平成22年の秋田ノーザンハピネッツのbjリーグ参入、平成23年度のインターハイ開催などがありました。

これを機に、改めて「バスケの街づくり」のあり方を見直し、バスケを核に地域振興を図るため、新たな計画を策定するものです。

2. 策定にあたっての視点

計画の策定にあたっては、これまでの取組状況などを踏まえ、次の3つの視点で検討を進めました。

(1) 「競技力向上」の視点

- 能代工業高校バスケットボール部を中心としてハイレベルでいられるように
- 地元出身選手が活躍できるように

(2) 「地域活力」の視点

- 「バスケの街づくり」を交流人口の増加につなげられるように
- 「バスケの街づくり」を地域産業の発展に結びつけられるように

(3) 「市民文化」の視点

- 市民や来訪者がバスケに親しみ楽しめるように
- 「バスケの街」として能代らしさがあり市民が誇りに思えるように

3. 計画の位置付け

バスケの街づくりは、市や市教育委員会をはじめとする行政機関だけが取り組むことで達成できるものではなく、地域の関係団体等をはじめとする多様な主体の皆さんとともに考え、ともに連携を図りながら取り組んでいくことで、初めて成し得るものです。

こうした考え方のもとに、各界各層の市民等30人で構成する「能代市バスケの街づくり推進会議」を設置し、実態調査結果や市民からの意見・提言のほか、推進会議の前に設けた準備会での検討結果や、研究機関の調査結果を参考にしながら、計画の検討を進めました。

この計画は、街づくりに参加する各主体の皆さんの実感や活動の実態に基づき推進していく必要があることから、行政機関が行政事業を管理していくための計画（行政管理の計画）としてではなく、地域の皆さんとともに考え、ともに連携を図りながら取り組んでいくための計画（地域協働の計画）として位置付けします。

4. 計画の名称と期間

計画の名称は、「能代市バスケの街づくり推進計画」とします。

計画の期間は、平成24(2012)年度から平成33(2021)年度までの10年間とします。

5. 計画の構成

バスケの街づくりに関する基本計画として、次の3つの層で構成します。

(1) 街づくりのビジョン

10年後の将来像として、めざす街の姿を表します。

(2) 街づくりのゴール

10年後の到達目標として、街づくりのビジョンを実現するために達成したい目標を表します。

(3) 街づくりの取組

10年間の活動・行動として、街づくりのゴールに向かって取り組みたいことを表します。

Ⅱ．基本計画

1．街づくりのビジョン

バスケットといえば能代、誰もがそう思える「バスケットの聖地」でありたい、能代市は日本で唯一のバスケットの街になり得ます。

市民、来訪者、そして関係者みんなが、バスケットを楽しめる、バスケットに親しめる、バスケットを極める、そしてバスケットを誇れる、バスケットを通じてみんなが元気になれる街をめざし、「バスケットでみんなが元気になれる街」を街づくりのビジョンとします。

このビジョンには、バスケットをきっかけとして、街に活気が生まれ、街なかのにぎわいを創出し、能代から全国に向けて元気を発信できるような街をめざしたい、という思いが込められています。

また、このビジョンは、競技的効果（競技力の向上、育成と普及）、経済的効果（地域経済の活性化、街への還元）、そして社会的効果（地域の魅力向上、街づくり主体の多様化と協働）によって実現できる街の姿としてとらえます。

街づくりのビジョン **バスケットでみんなが元気になれる街**

2．街づくりのゴール

街づくりのビジョンを実現するため、次の4つを街づくりのゴールとします。

街づくりのゴール (1) **本物のバスケットに触れられること**

「バスケットの街能代」は、能代工業高校バスケットボール部の栄光に支えられてきました。その栄光の歴史と、「バスケットボール王国」とも呼ばれる秋田県のバスケットの文化が、「秋田にプロバスケットチームを！」という活動に結び付いたことで、新たに県民球団として秋田ノーザンハピネッツが誕生し、能代工業高校バスケットボール部OBも選手やスタッフとして、チームの一員となって活躍しています。

市民にとって、特に子ども達にとって、こうした本格的なバスケットに触れられる貴重な機会を得られること、そして、能代工業高校バスケットボール部や秋田ノーザンハピネッツに憧れを持つ、次代を担う子ども達の、バスケットに対する情熱と挑戦の心を育んでいくことが大事です。そのためにはまた、これらのチームを地域全体で支えていくことが望まれます。

こうしたことを踏まえ、街づくりのゴールの1つ目を「本物のバスケットに触れられること」とし、ゴールを構成する要素を「最高峰のバスケットを体感できる環境があること」「各カテゴリーに全国レベルの強いバスケットがあること」とします。

〈ゴールの構成要素〉

○最高峰のバスケットを体感できる環境があること

○各カテゴリーに全国レベルの強いバスケットがあること

街づくりのゴール (2) バスケットで誰でも集えること

スポーツの振興には「する」「みる」「支える」の3つの側面があり、この3つの層がバランスよく増えていかないと、結局は「する」人も増えないといわれています。バスケットボールにおいても、この「する」「みる」「支える」のそれぞれの楽しさや喜びを広めていくことが大事です。

また、生涯スポーツや健康増進などの観点からバスケットを気軽に楽しめる環境や、バスケットというキーワードを通じて、誰でも参加でき、集い、そして語り合えるような、交流できる環境が望まれます。

こうしたことを踏まえ、街づくりのゴールの2つ目を「バスケットで誰でも集えること」とし、ゴールを構成する要素を「バスケットを通じて集まることができ、交流できる環境があること」「バスケットに関連するイベントや大会が年間を通じて開催されていること」とします。

〈ゴールの構成要素〉

- バスケットを通じて集まることができ、交流できる環境があること
- バスケットに関連するイベントや大会が年間を通じて開催されていること

街づくりのゴール (3) バスケットで地域が潤えること

これまで、「バスケットの街能代」の知名度を活かして、商標登録によるグッズやお菓子などの商品化や、本格的にスポーツ合宿ができる施設である能代山本スポーツリゾートセンター「アリナス」の運営など、民間、行政がそれぞれ取り組んできました。その結果、グッズやお菓子などはお土産品として定着しているものもあり、また、アリナスは年間約20万人が利用するなど、一定の成果はありましたが、地域経済に結び付いていないのが現状です。

今後、バスケットに関連して経済活動が生まれ、そして、バスケットの街づくりに貢献できるような環境づくりが望まれます。

こうしたことを踏まえ、街づくりのゴールの3つ目を「バスケットで地域が潤えること」とし、ゴールを構成する要素を「バスケットに関連して経済活動が生まれること」「バスケットに関連した経済活動が行われやすい環境があること」とします。

〈ゴールの構成要素〉

- バスケットに関連して経済活動が生まれること
- バスケットに関連した経済活動が行われやすい環境があること

街づくりのゴール (4) バスケットが街なかで感じられること

これまで、「バスケットの街能代」を盛り上げるため、民間、行政がそれぞれバスケット関連のデザインをいろいろな形で用いるなど、バスケットの街をPRしてきたことで、街なかにバスケット関連のものが増えてきましたが、日常的に感じられるところまで至っていないのが現状です。

今後、さらに「バスケットの街能代」が市民の間で広く共有され、地域の中にさまざまな形でバスケットが根付いて日常の一コマとなり、街なかにバスケットが自然に存在することになること、そして、バスケットに関する情報が日常的に得られるようになることが望まれます。

こうしたことを踏まえ、街づくりのゴールの4つ目を「バスケットが街なかで感じられること」とし、ゴールを構成する要素を「いつでも、どこでも、バスケットについて接することができること」「バスケットに関する情報を得られる環境があること」とします。

〈ゴールの構成要素〉

- いつでも、どこでも、バスケットについて接することができること
- バスケットに関する情報を得られる環境があること

○街づくりの総合指標

ゴール全体の到達度を測るための目安とする指標として、「街づくりの総合指標」を位置付けし、各主体の皆さんの実感や活動の実態に基づく目標値「めざそう値」を設定します。

「めざそう値」の設定年次は、能代カップ高校選抜バスケットボール大会が第30回大会を迎え、能代工業高校バスケットボール部全国初制覇から50年目となる6年後（平成29年度）と、計画期間である10年後（平成33年度）とします。

この「めざそう値」については、各ゴールの到達度を測るための目安とする指標「街づくりの指標」とともに、取組を進めていく中で順次、検討・設定していきます。

【街づくりの総合指標】

指標項目	基準値	めざそう値	
		6年後(H29)	10年後(H33)
バスケットを楽しめる環境があると思う市民の割合	% (H24)	※「街づくりの指標」とともに、 取組を進めていく中で順次、 検討・設定していきます。	
バスケットの街を他に誇れると思う市民の割合	45.8% (H23)		
バスケットの街づくりに関わりたいと思う市民の割合	% (H24)		

3. 街づくりの取組

街づくりのゴールに向かって取り組みたいことについて、ゴールごとに次の構成により表します。

○街づくり関連情報

街づくりの取組に関わる参考事項等について、街づくり関連情報として掲載します。

○街づくりの取組

「能代市バスケの街づくり推進会議」の提言を踏まえ、ゴールごとに取組を掲載します。

取組が複数のゴールに関連する場合は、主たるゴール1つに掲載します。

取組ごとに、「取組の方向」「取組の概要」「効果を上げたい取組・実現させたい取組」「望ましい実施主体」をそれぞれ掲載します。「効果を上げたい取組・実現させたい取組」については、実現度等を勘案して「3年（短期）」「6年（中期）」「10年（長期）」に期間を区分します。

また、各取組の脚注に「推進上の留意事項」として、推進会議での参考意見や推進上の参考事項等を掲載します。

実施主体については、おおむね次のような区分としています。

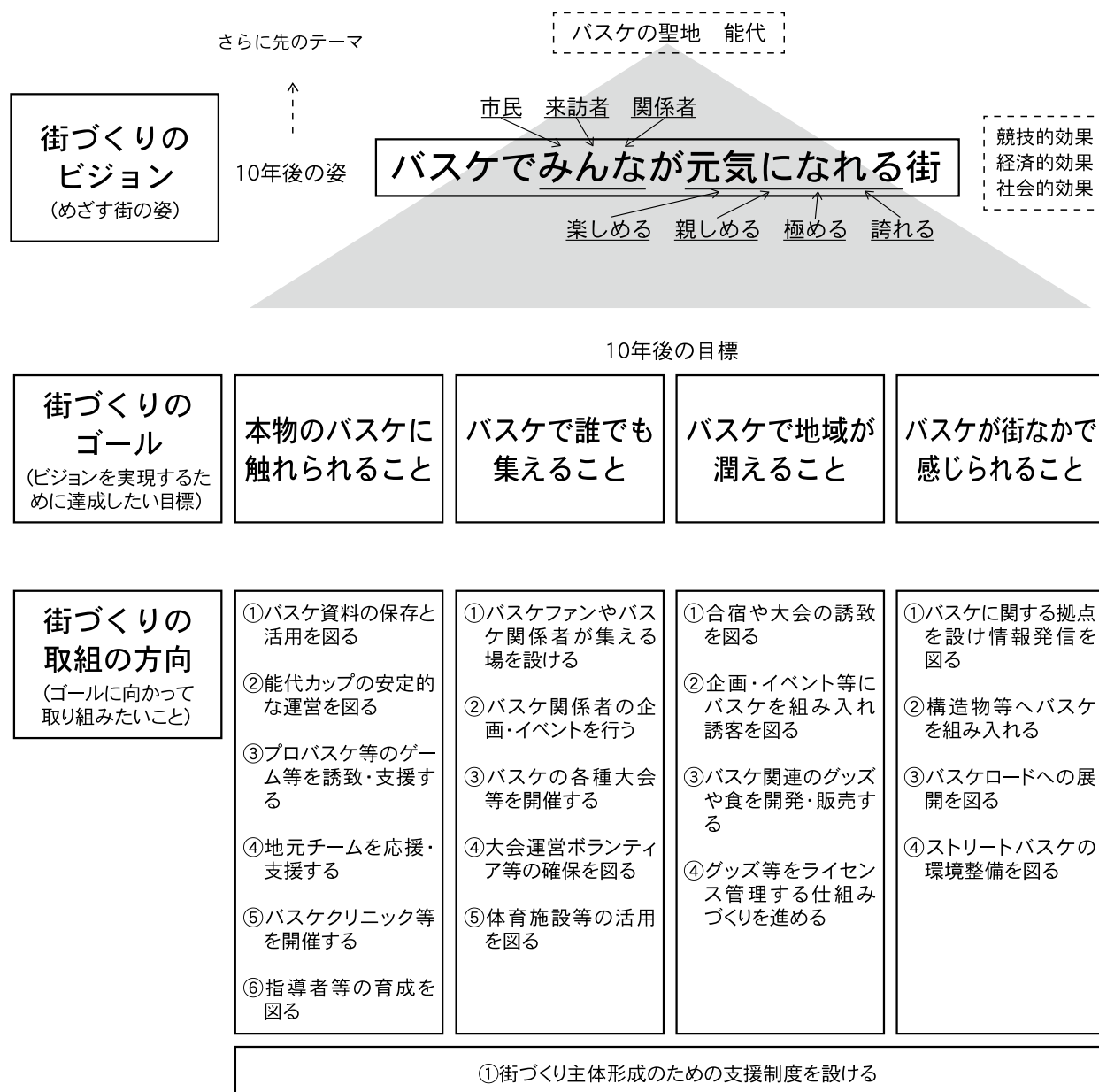
- ・行政機関：主に市や市教育委員会。国・県等を含む。
- ・民間・NPO等：民間の事業者、NPOや類する団体。
- ・競技団体：主にバスケットボール協会やミニバスケットボール連盟、中学校体育連盟専門部等。
- ・商工・観光団体等：主に商工会議所・商工会や商店会、観光協会やホテル旅館組合等。
- ・学校・学生等：各学校や学生等。
- ・市民・有志等：バスケの街づくりに賛同する市民や有志等。
- ・合宿関係施設：アリナスや各ホテル・旅館・民宿等。

○街づくりの指標

各ゴールの到達度を測るための目安とする指標として、「街づくりの指標」を位置付けし、街づくりのゴールにおける「街づくりの総合指標」とともに、取組を進めていく中で順次、「めざそう値」を検討・設定していきます。

ただし、既存の仕組みや取組がないことなどが理由で、指標自体を取ることができないものが多いことから、指標項目は例示にとどめ、取組を進めていく中で順次、検討・設定していきます。

〈 能代市バスケットの街づくり推進計画の体系図 〉



街づくりのゴール	(1) 本物のバスケットに触れられること
----------	----------------------

ゴールの構成要素	○最高峰のバスケットを体感できる環境があること ○各カテゴリーに全国レベルの強いバスケットがあること
----------	---

街づくり関連情報	○バスケットボール解説者の島本和彦氏から市へNBA関係の書籍やグッズ等が平成23年度に寄贈され、インターハイ期間中に、能代工業高校から借りたバスケットボール部の軌跡に関する資料等とともに旧金勇と畠町新拠点に展示したところ、好評でした。また、能代工業高校バスケットボール部の加藤廣志元監督から、トロフィーや楯などが市へ寄贈されました。 ○能代カップ高校選抜バスケットボール大会は、第4の全国大会として定着しており、平成29年度には第30回大会を迎える予定です。また、平成29年度は、能代工業高校バスケットボール部が埼玉国体で全国初制覇した昭和42年10月26日から50年目の年でもあります。 ○プロバスケットボールのbjリーグへ平成22年に参入した秋田ノーザンハピネッツは、秋田県をホームタウンとしており、選手及びスタッフとして、能代工業高校バスケットボール部OB4人と能代市出身1人が所属しています。 ○車椅子バスケットボールの日本代表合宿について、平成16年度からこれまで能代山本スポーツリゾートセンター「アリナス」を中心に5回の強化合宿を誘致・支援しており、世界レベルの競技を間近で見られる貴重な機会となっています。 ○市内のミニバスチームを対象に、能代工業高校生徒会主催のバスケットクリニックが毎年開催されているほか、平成23年度には、市・市教育委員会主催の秋田ノーザンハピネッツによるクリニックを開催しました。また、能代青年会議所主催の「はじめてのバスケット」では、小学1～3年生を対象に、能代工業高校バスケットボール部が講師を務めました。 ○スポーツ少年団に加入する小学校中～高学年の時期は、ゴールデンエイジと呼ばれ、あらゆる動作を短期間に覚えることが可能な時期であり、スポーツの基礎的な技術を学ぶのに最適とされています。
----------	---

【街づくりの取組】

取組の方向	①バスケ資料の保存と活用を図る	
取組の概要	能代工業高校バスケットボール部の歴史の保存を図るとともに、バスケの街の知名度を活かして、日本のバスケ資料の収集と活用を図ります。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3 年（短期）	バスケ資料館機能を設置する	民間・NPO等 行政機関 競技団体
6 年（中期）	バスケ資料館の設置をめざす	
10年（長期）	バスケ資料館を設置し、バスケの殿堂への展開をめざす	
推進上の留意事項：推進会議では、殿堂をめざす設立委員会の設置や、運営主体を募集してはどうか、といった意見があった。		

取組の方向	②能代カップの安定的な運営を図る	
取組の概要	第４の全国大会として定着してきた能代カップ高校選抜バスケットボール大会の安定的な運営を図るため、運営に関わる団体やボランティアの確保に努めます。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
３年（短期）	能代カップの運営に関わる団体やボランティアを増やす	競技団体 商工・観光団体等 学校・学生等 市民・有志等 行政機関
６年（中期）	平成29年度の第30回大会を市全体で盛り上げる	
10年（長期）	能代カップの運営に関わる多くの団体やボランティアの定着をめざす	
推進上の留意事項：推進会議では、能代カップの部分的商業化やボランティアスタッフを高校生主体に、といった意見があった。		

取組の方向	③プロバスケット等のゲーム等を誘致・支援する	
取組の概要	秋田ノーザンハピネッツのbjリーグをはじめ、JBLやWJBLのゲーム、車椅子バスケットボール日本代表チームの強化合宿等の誘致・支援を行います。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3年（短期）	秋田ノーザンハピネッツホームゲーム等を誘致・支援する	行政機関
6年（中期）		競技団体
10年（長期）		合宿関係施設
推進上の留意事項：ハピネッツ関係者から、レギュラーシーズンの能代開催は多くて年2回まで、との情報提供があった。		

【街づくりの取組】

取組の方向	④地元チームを応援・支援する	
取組の概要	能代工業高校バスケットボール部や秋田ノーザンハピネッツをはじめとする地元チームについて、パブリックビューイングや自動販売機設置など、さまざまな形で応援・支援を行います。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3年（短期）	能代工業高校バスケットボール部や秋田ノーザンハピネッツ等の地元チームを応援・支援する	市民・有志等
6年（中期）		民間・NPO等
10年（長期）		商工・観光団体等 行政機関
推進上の留意事項：推進会議では、ハピネッツ支援イベントの開催や、ダンクカードのポイント活用を、といった意見があった。		

取組の方向	⑤バスケクリニック等を開催する	
取組の概要	能代工業高校バスケットボール部や秋田ノーザンハピネッツ等を講師として、ミニバスチームを中心にバスケクリニック等を開催します。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3年（短期）	ミニバスチーム等へのバスケクリニック等を開催する	競技団体
6年（中期）		学校・学生等
10年（長期）		行政機関 民間・NPO等
推進上の留意事項：推進会議では、冠スポンサー付きの開催や、小学校低学年向けの開催を、といった意見があった。		

取組の方向	⑥指導者等の育成を図る	
取組の概要	専門機関等との連携を図りながら定期的な講習会を開催するなど、指導者や審判員等の育成を図ります。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3年（短期）	指導者や審判員等の定期的な講習会を開催する	競技団体
6年（中期）		行政機関
10年（長期）		
推進上の留意事項：推進会議では、初心者向け・上級者向けの講習、中学校での外部指導者の活用を、といった意見があった。		

【街づくりの指標】

指標項目（※例示）	基準値	めざそう値	
		6年後(H29)	10年後(H33)
能代カップの観客数（3日間）	5,339人 (H23)	※「街づくりの総合指標」とともに、取組を進めていく中で順次、検討・設定していきます。	
秋田ノーザンハピネッツホームゲーム能代開催の観客数（1日あたり）	2,722人 (H22)		
展示できるバスケット資料の数			

街づくりのゴール	(2) バスケットで誰でも集えること
----------	--------------------

ゴールの構成要素	○バスケットを通じて集まることができ、交流できる環境があること ○バスケットに関連するイベントや大会が年間を通じて開催されていること
----------	---

街づくり関連情報	○バスケットの街として能代の知名度は全国的に高く、特にバスケットファンやバスケット関係者には、きっかけがあれば訪れてみたいという声が多くあります。 ○アメリカで1891年12月21日にバスケットボールが誕生してから、平成23年（2011年）には120年目を迎え、バスケットボールの日として記念日にしようとする活動が行われています。 ○市では、バスケットボールを核にあらゆるスポーツの振興を図ることをめざしています。本市には、それぞれ数十億円規模の事業費をかけて建設した能代市総合体育館や能代山本スポーツリゾートセンター「アリーナス」、二ツ井町総合体育館をはじめ、体育館が数多く存在しています。 ○各層においてバスケットボール競技の各種大会を数多く開催していますが、大会運営に関わるスタッフ等が不足する傾向にあります。 ○競技団体等が主催するバスケットボールの各種大会以外にも、誰でも参加できるようなフリースロー等を競う「健康フリースロー大会」や、「400歳野球」のバスケット版をめざす活動などがあります。
----------	---

【街づくりの取組】

取組の方向	①バスケファンやバスケ関係者が集える場を設ける	
取組の概要	市内や県内のバスケファンやバスケ関係者をはじめ、全国のバスケファンやバスケ関係者が交流できるよう集える場を設けます。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3年（短期）	バスケファンやバスケ関係者が集える場を設置する	民間・NPO等 行政機関 競技団体
6年（中期）	バスケファンやバスケ関係者が集える場の拡充をめざす	
10年（長期）	バスケファンやバスケ関係者が集える場を継続する	
推進上の留意事項：推進会議では、バスケ映像を鑑賞できる場の確保や、バスケの街案内人を、といった意見があった。		

【街づくりの取組】

取組の方向	②バスケ関係の企画・イベントを行う	
取組の概要	バスケの街づくりの機運を高めるため、誰でも参加できるフリースロー競争やバスケ関係のコンテスト、交流会等の企画・イベントを行います。また、バスケー色になるような「バスケの日」等の設定とイベント等の開催をめざします。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3年（短期）	バスケに関係する企画・イベントを行う 「バスケの日」等を設定し、イベント等を開催する	民間・NPO等 商工・観光団体等 学校・学生等 行政機関
6年（中期）	バスケに関係する企画・イベントを行う 「バスケの日」等にあわせたイベント等の拡充を図る	
10年（長期）	バスケに関係する企画・イベントを行う 「バスケの日」等にあわせたイベント等の定着をめざす	
推進上の留意事項：推進会議では、大きな催しに合わせた3on3イベントや、新たに実行委員会の組織を、といった意見があった。		

取組の方向	③バスケットの各種大会等を開催する	
取組の概要	バスケットボール競技の底辺拡大や生涯スポーツ、チーム同士の交流等の観点から、各種大会等を開催します。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3年（短期）	バスケットボール競技の各種大会等を開催する	競技団体
6年（中期）		行政機関
10年（長期）		
推進上の留意事項：推進会議では、中学校招待試合の開催や、交流試合等の経費負担をルール化しては、といった意見があった。		

取組の方向	④大会運営ボランティア等の確保を図る	
取組の概要	大会運営に関わるスタッフ等の不足を解消するため、ボランティア等が参加しやすい環境づくりに努めるなど、ボランティア等の確保を図ります。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3年（短期）	大会運営ボランティア等が参加しやすい環境づくりを行う	競技団体
6年（中期）		学校・学生等
10年（長期）		行政機関
推進上の留意事項：推進会議では、スタッフ用のマニュアル作成や、高校生のバスケの街体験の場に、といった意見があった。		

【街づくりの取組】

取組の方向	⑤体育施設等の活用を図る	
取組の概要	バスケットボール競技の練習ができる環境を確保するため、体育施設や学校施設の活用を図ります。また、学校統合等による既存施設の活用を含め、専用コート設置等を検討します。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3年（短期）	体育施設や学校施設の活用を図りながら、既存施設の活用を含め、専用コート設置等を検討する	競技団体
6年（中期）		行政機関
10年（長期）		学校・学生等
推進上の留意事項：推進会議では、空き施設活用や大会等の協力金・プログラム売上で専用アリーナを、といった意見があった。		

【街づくりの指標】

指標項目（※例示）	基準値	めざそう値	
		6年後(H29)	10年後(H33)
バスケ関連のイベントの参加者数		※「街づくりの総合指標」とともに、取組を進めていく中で順次、検討・設定していきます。	
バスケの大会参加者数			
バスケのボランティアに関わる人の数			

街づくりのゴール	(3) バスケットで地域が潤えること
----------	--------------------

ゴールの構成要素	○バスケットに関連して経済活動が生まれること ○バスケットに関連した経済活動が行われやすい環境があること
----------	--

街づくり関連情報	○JR五能線の「リゾートしらかみ」では、能代駅に設置しているリングを使ってフリースローを行い、シュートが入った乗客に記念品をプレゼントしています。 ○市内の民間会社では、バスケット関連グッズのネット販売を行っているほか、バスケット関連のお菓子などの販売も行われています。また、バスケットをモチーフに活用している事例として、能代ポイントカード事業協同組合が発行する「ダンクカード」があり、キャラクターの「ダンクくん」は市民に定着しています。 ○秋田ノーザンハピネッツでは、企業等が応援自動販売機を設置することで、売上げの一部が運営資金として寄付される仕組みになっています。 ○スポーツによる街づくりを行っている先進地では、経済効果を意識してスポーツ合宿の誘致や全国大会の開催などを行っており、成功を収めています。
----------	---

【街づくりの取組】

取組の方向	①合宿や大会の誘致を図る	
取組の概要	能代山本スポーツリゾートセンター「アリナス」、能代市総合体育館及び周辺エリアの魅力ある環境づくりを行いながら、合宿や大会の誘致を図ります。あわせて、交流試合等をコーディネートする仕組みづくりをめざします。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3年（短期）	合宿や大会を誘致する 交流試合等をコーディネートする仕組みづくりを検討する	合宿関係施設 民間・NPO等 商工・観光団体等 競技団体 行政機関
6年（中期）	合宿や大会を誘致する 交流試合等をコーディネートする仕組みづくりをめざす	
10年（長期）	合宿や大会を誘致する 交流試合等をコーディネートする仕組みの定着をめざす	
推進上の留意事項：推進会議では、交流試合等のコーディネートはNPOとアリナスで、といった意見があった。		

【街づくりの取組】

取組の方向	②企画・イベント等にバスケットを組み入れ誘客を図る	
取組の概要	各種企画・イベント等にバスケットの要素を組み入れることで、能代の独自性を高め、誘客を図ります。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3年（短期）	各種企画・イベント等にバスケットの要素を組み入れる	民間・NPO等
6年（中期）		商工・観光団体等
10年（長期）		市民・有志等 行政機関
推進上の留意事項：推進会議では、「バスケット×（かける）何々」という検討を行い、多岐に渡る組合せのアイデアがあった。		

取組の方向	③バスケ関連のグッズや食を開発・販売する	
取組の概要	バスケの街をPRできるようバスケ関連の多様なグッズや食を開発し、大会やイベント等に合わせた販売やネット販売も行い、そのPRに努めます。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3年（短期）	バスケ関連グッズや食の開発・販売の拡充をめざす	民間・NPO等 商工・観光団体等
6年（中期）	バスケ関連グッズや食の開発・販売の定着をめざす	
10年（長期）	バスケ関連グッズや食の能代名物としての定着をめざす	
推進上の留意事項：推進会議では、バスケをイメージした食の募集、まとめて販売できる場所の確保を、といった意見があった。		

取組の方向	④グッズ等をライセンス管理する仕組みづくりを進める	
取組の概要	バスケ関連グッズ等に統一したキャラクターやロゴマークを用いるなど、ライセンス管理の仕組みづくりをめざすとともに、商品の収益等をバスケの街づくりに還元する手法についても検討します。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3年（短期）	グッズ等をライセンス管理する仕組みを検討する	商工・観光団体等 民間・NPO等 行政機関
6年（中期）	グッズ等をライセンス管理する仕組みづくりをめざす	
10年（長期）	グッズ等のライセンス管理で商品の収益等をバスケの街づくりに還元することをめざす	
推進上の留意事項：推進会議では、体育館をネーミングライツにし、その収益でバスケ利用の割引を、といった意見があった。		

【街づくりの指標】

指標項目（※例示）	基準値	めざそう値	
		6 年後 (H29)	10 年後 (H33)
バスヶ合宿（アリナス）団体数 延べ日数 訪問人数 ＊アリナス以外も把握できることが望ましい。	30団体 38日 861人 (H22)	※「街づくりの総合指標」とともに、取組を進めていく中で順次、検討・設定していきます。	
バスヶ関連の商品数			
バスヶ関連の売上げ			

街づくりのゴール	(4) バスケットが街なかで感じられること
----------	-----------------------

ゴールの構成要素	○いつでも、どこでも、バスケットについて接することができること ○バスケットに関する情報を得られる環境があること
----------	---

街づくり関連情報	○能代駅と東能代駅のバスケットリング、高速道路の案内看板、国道のリング型照明灯、民間企業によるペイントや商店街のシャッターアートのほか、地域防犯のキャッチフレーズの頭文字を取った「バスケット作戦」など、バスケット関連のものをさまざまなところに用いています。また、下水道のマンホールふたについては、平成23年度からバスケット関連のデザインを採用し、今後も増やしていく予定です。 ○市では、いつでも、どこでも、誰でもバスケットができる環境をめざして、街区公園等約50カ所にミニバス用のリングを設置しているほか、能代市総合体育館近くの多目的広場には、3 on 3 を想定した一般用のリングを設置しています。 ○平成23年度のインターハイ期間中に、NBA選手の名言を簡易ボードにして、競技会場の能代市総合体育館から、バスケット関連資料の展示会場である旧金勇、畠町新拠点まで並べ「バスケット名言ストリート」としたところ、好評でした。また、渋谷センター商店街振興組合では、渋谷センター街のメイン通りを「バスケットボールストリート」と命名し、大きな反響を呼びました。 ○能代におけるバスケットに関する情報について、現状では一元的に集約されておらず、情報発信が十分とはいえない状況にあります。
----------	--

【街づくりの取組】

取組の方向	①バスケに関する拠点を設け情報発信を図る	
取組の概要	バスケに関する拠点を設け、さまざまな情報の集約を行いながら、電子媒体を中心にさまざまな手法で情報の発信を図ります。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3 年（短期）	バスケに関する拠点を設け、情報の発信を行う	民間・NPO等 行政機関 商工・観光団体等 競技団体
6 年（中期）	バスケに関するマップの作成や拠点を中心としたツアー企画等を行う	
10年（長期）	バスケに関する恒常的な拠点を確立し、情報の発信を行う	
推進上の留意事項：推進会議では、バスケのコミュサイト、ツイッター・フェイスブック・専門誌活用、といった意見があった。		

【街づくりの取組】

取組の方向	②構造物等へバスケットを組み入れる	
取組の概要	構造物等へバスケットのデザインなどを組み入れることで、街なかでのバスケットの雰囲気を広げます。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3年（短期）	構造物等へのバスケットの組入れを行う	民間・NPO等 商工・観光団体等 行政機関
6年（中期）	構造物等へのバスケットの組入れの拡充をめざす	
10年（長期）	構造物等へのバスケットの組入れでバスケット色の街の景観をめざす	
推進上の留意事項：推進会議では、街灯等をバスケットゴールに、標識にバスケット案内を、といった意見があった。		

取組の方向	③バスケットロードへの展開を図る	
取組の概要	試行的に実施した「バスケット名言ストリート」をさらに発展させ、バスケットロードとなるよう展開を図ります。また、渋谷のバスケットボールストリートとの連携をめざします。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3年（短期）	バスケットストリートを発展させる	商工・観光団体等 行政機関
6年（中期）	バスケットロードへの展開をめざす	
10年（長期）	バスケットロードの定着をめざす	民間・NPO等
推進上の留意事項：推進会議では、ウォークオブフェイムを作る、渋谷バスケット通りとの連携イベントを、といった意見があった。		

取組の方向	④ストリートバスケットの環境整備を図る	
取組の概要	屋外に設置しているリングの活用を図りながら、イベント開催を含め、街なかでストリートバスケットができる環境の整備をめざします。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3年（短期）	屋外リングの活用を図りながら、街なかでストリートバスケットができる環境の整備をめざす	行政機関
6年（中期）		商工・観光団体等
10年（長期）		民間・NPO等
推進上の留意事項：推進会議では、公園以外にもストリートバスケットや3on3を楽しめる環境があれば、といった意見があった。		

【街づくりの指標】

指標項目（※例示）	基準値	めざそう値	
		6年後(H29)	10年後(H33)
街なかで目にするバスケットに関連するものの数 （トレンド指標として）		※「街づくりの総合指標」とともに、取組を進めていく中で順次、検討・設定していきます。	
地元紙でバスケット関係が取り上げられた記事の数 （トレンド指標として）			

街づくりのゴール	(1)～(4)共通
----------	-----------

街づくり関連情報	○バスケットの街づくりの実効性を高めるためには、特定の団体等が取り組むだけでなく、広くさまざまな業界・業種等からの参画が必要となることから、その仕組みづくりが必要と考えられます。 ○本計画の検討にあたって設置した「能代市バスケットの街づくり推進会議」からの提言の中にも、ユニークなアイデアが数多くあります。 〈参考〉提言の中のアイデア（抜粋） ・バスケットの食関係 ～バスケットバーガー、バスケットだまこ（口へシュート）、ダンク焼きそば、バスケットチャーハン、バスケット丼（器がボールの半分の形） ・能代のバスケットサイト ・能代を取り上げたバスケット本・マンガ ・バスケット神社 ・バスケット応援歌・音頭 ・バスケットCM ・バスケットイラスト・ポスターコンテスト ・バスケット映画祭
----------	---

【街づくりの取組】

取組の方向	①街づくり主体形成のための支援制度を設ける	
取組の概要	バスケットの街づくりへ広く民間等の参画を図るため、実施主体形成のための支援制度を設けます。また、募金等を含め、バスケットの街づくりに関する基金の設置を検討します。	
期間区分	効果を上げたい取組・実現させたい取組	望ましい実施主体
3 年（短期）	実施主体形成のための支援制度を創設する	行政機関
6 年（中期）	支援制度の見直しを行いながら、基金の設置を検討する	民間・NPO等
10年（長期）	募金等を含めた支援制度の確立をめざす	
推進上の留意事項：バスケットの街づくりへの貢献度の評価、計画の中で取組が弱い部分への誘導などがポイントと考えられる。		

【街づくりの指標】

指標項目（※例示）	基準値	めざそう値	
		6年後(H29)	10年後(H33)
バスケットの街づくり支援制度の認定事業数		※「街づくりの総合指標」とともに、取組を進めていく中で順次、検討・設定していきます。	

Ⅲ．計画の推進

1．取組の効果的な展開

バスケの街づくりに限ったことではありませんが、さまざまな面において資源は限られているため、取組を進める上で、その有効活用を図ります。

また、取組を進めるにあたっては、複数のゴールを意識して取り組むなど、より効果が高まるよう努めるとともに、複数の取組を組み合わせることで、複数のゴールに相乗効果を生み出すなど、取組の効果的な展開を図ります。

2．計画の点検と推進

この計画は、PDCAサイクル（Plan→Do→Check→Action）によりローリングしていくものとし、計画を点検しながら次の取組の展開につなげていきます。

計画の点検は、バスケの街づくりに係る活動の実態と、基本計画の中で設定する「街づくりの総合指標」「街づくりの指標」を組み合わせで行います。

これらの指標は、目標達成の可否判定のためではなく、計画の到達度を点検することによって、各主体の次の取組につなげるためのものとして位置付けします。

以上を踏まえて、計画を定期的に点検し、その推進を図るため、関係者等で構成する推進組織を設置し、関係者等相互の情報の共有と取組の連携を図るとともに、指標項目や「めざそう値」の検討を行っていきます。

また、計画の点検と推進にあたっては、大学等研究機関との連携を図ります。

3．市の推進体制

バスケの街づくりは、継続的かつ複合的に進めていくことが重要であり、バスケの街づくりを総括し、情報を集約しながら一元的に推進していく必要があることから、市の企画部門に専任体制を設け、バスケの街づくりの核となる部署として位置付けします。

また、スポーツ振興部門及び中心市街地活性化部門については、バスケの街づくりに大きく関わる重要な部門であることから、バスケの街づくりを中心的に推進する部署として位置付けします。

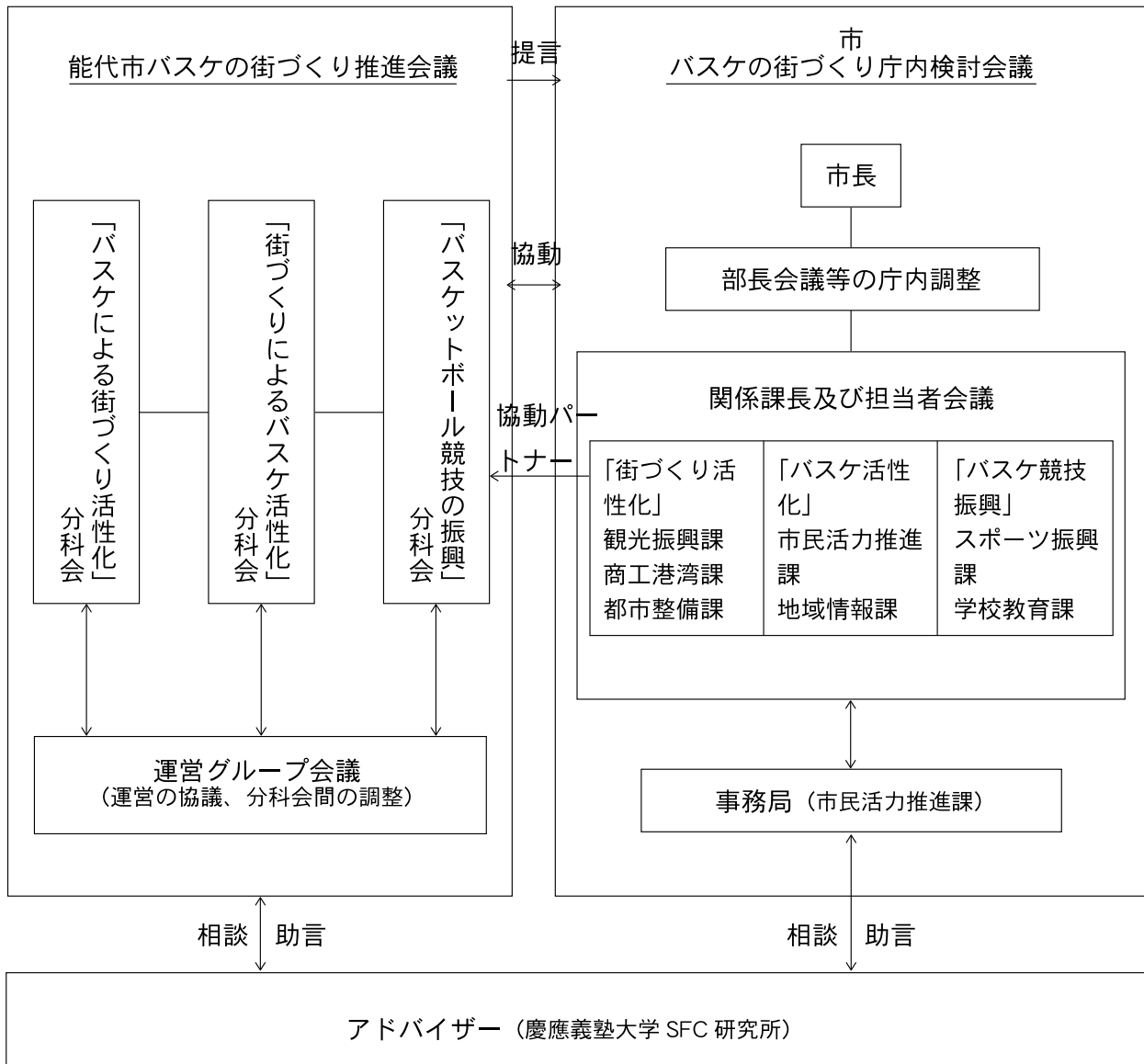
さらに、全庁的に推進していくため、関係部署等との連携を図ります。

資料編

I. 計画策定の経過

年 月 日	事 項
H22. 7. 26	新計画策定の方針決定
8. 27	バスケの街づくり庁内検討会議 第1回関係課長及び担当者会議
10. 19	(仮称)バスケの街づくり推進会議準備会(第1回)
12. 1	バスケの街づくりに関する実態調査(～12.20、61団体に依頼、33団体から回答)
12. 22	バスケの街づくりに関する意見・提言の募集(～H23.1.31、13件)
H23. 1. 21	バスケの街づくり庁内検討会議 第2回関係課長及び担当者会議
2. 1	(仮称)バスケの街づくり推進会議準備会(第2回)
2. 12	慶應義塾大学研究室「スポーツの街プロジェクト」バスケの街スタディツアー(～2.16、准教授・研究員・学生計9名)
2. 22	(仮称)バスケの街づくり推進会議準備会(第3回)
3. 25	バスケの街づくり基礎調査報告書提出(慶應義塾大学研究室「スポーツの街プロジェクト」)
4. 12	(仮称)バスケの街づくり推進会議準備会(第4回)
7. 11	バスケの街づくり庁内検討会議 第3回関係課長及び担当者会議
7. 19	第1回能代市バスケの街づくり推進会議
8. 30	第2回能代市バスケの街づくり推進会議・第1回運営グループ会議
9. 27	第3回能代市バスケの街づくり推進会議・第2回運営グループ会議
10. 17	バスケの街づくり庁内検討会議 第4回関係課長及び担当者会議
10. 20	(仮称)能代市バスケの街づくり推進計画の骨子(案)を決定
10. 25	第4回能代市バスケの街づくり推進会議・第3回運営グループ会議
11. 15	(仮称)能代市バスケの街づくり推進計画の骨子を決定
	第5回能代市バスケの街づくり推進会議・第4回運営グループ会議
11. 28	第6回能代市バスケの街づくり推進会議・第5回運営グループ会議
12. 8	市議会総務企画委員会へ計画骨子を説明
12. 9	(仮称)能代市バスケの街づくり推進計画の策定に関する提言書の提出(能代市バスケの街づくり推進会議)
H24. 2. 8	バスケの街づくり庁内検討会議 第5回関係課長及び担当者会議
2. 16	能代市バスケの街づくり推進計画(素案)を決定
2. 20	計画素案のパブリックコメント(～3.5、0件)
3. 7	能代市バスケの街づくり推進計画(案)を決定
3. 12	市議会総務企画委員会へ計画案を説明(～3.13)
3. 15	能代市バスケの街づくり推進計画を決定

Ⅱ．計画の策定体制



Ⅲ. (仮称) 能代市バスケットの街づくり推進計画の策定に関する提言書

(仮称) 能代市バスケットの街づくり推進計画の策定に関する提言

能代市バスケットの街づくり推進会議は、能代市の「バスケットの街づくり」を推進するため、基本計画の策定に関して市と協働で検討を進めてきました。

その結果を下記のとおり取りまとめましたので、提言します。

記

1 計画の骨子について

市が作成した目指す街の姿「街づくりのビジョン」及びビジョンを実現するために達成したい目標「街づくりのゴール」についての「計画の骨子」は、会議での検討結果が概ね反映されており、妥当である。

2 街づくりの取組について

計画に盛り込みたい「街づくりの取組」については、別紙のとおりである。

3 指標について

計画の到達度を点検するための目安となる目標指標については、計画全体の取組の効果を精査する必要があるので、計画の成案に合わせて検討していただきたい。

4 計画の推進について

① 計画の到達度を点検しながら推進していくことができるよう、策定後もこの会議のような組織を設置していただきたい。

② 実施主体の形成は大事であり、民間等の参画を図るための仕組みづくりを検討していただきたい。

③ 計画は策定だけでなく、実施段階においても市と市民の協働により推進していく必要があり、推進体制が大事なので、市の体制についても配慮していただきたい。

平成23年12月9日

能代市長 齊藤 滋 宣 様

能代市バスケットの街づくり推進会議
委員長 佐藤 善勝

ゴール 実現度	①本物のバスケットに触れられること			
	実現させたい取組	望ましい実施主体	実現させたい取組	望ましい実施主体
すぐに できそうなこと (短期)	(市民がバスケットを応援する)	(民と行政の役割分担)	定期的な指導者講習会～年4回	行政 競技団体
	増田町のようにJBLを誘致する	行政 教育行政 (予算)	大会誘致～県、東北、全国	競技団体 行政
	・工業高校を応援する ・ハピネッツを応援する	民間 市民	協力できるボランティアの確保 (年間を通した)～スタッフ用の マニュアル	高校生 市協会(バスケット ボール協会、体 育協会) 一般ボランティア
	・ゲーム応援 ・経済応援 ・環境づくり	民間 市民		
	ハピネッツ支援イベント開催、 パブリックビューイング	有志による応援 団 後援会+団体・市	b j リーグ能代市開催の誘致～ 年3回(レギュラーシーズンは 年2回が限度)	行政
	自販機設置プロジェクト	商工会議所	指導者講習会(初心者)、審判 講習会	競技団体
	バスケットクリニック(低学年用) ～冠スポンサー付きのクリニッ ク開催とする	民間・企画会社	人のシフト～指導者、小・中・高	行政
	能代カップの部分的商業化、宣 伝、グッズ	バスケットボール 協会		
	能代カップ開催時に全国からボ ランティア募集	旅館組合、観光 協会と連携		
	能代カップの入場料の見直し～ 小・中学生の無料化	ボランティアスタ ッフは高校生主 体で		
調整がつけば できそうなこと (中期)	能代カップのため帰省、運営協力			
	ポイントカード、ダンクカード～ バスケットへの活用	民間(能代ポイン トカード事業協同 組合)	バスケット×物づくり～アリーナ、 室内、室外	行政
	高・中・小学校を強くするため、実 績のある名指導者を能代に集め、 同時に若い指導者を育成する	バスケットボール 協会 行政が連携	バスケット専用アリーナ(既存)～北 高跡地の体育館をバスケット専用	行政
	(小・中・高が強化される)	—	バスケット×ルール=審判員養成 (上級)	競技団体 行政
	(強い能代工業バスケット部がある)	—	バスケット×人=トレーナー	行政 競技団体
	クリスマスバスケット大会に、バス ケットボールバースデーの名前 も付ける	12月21日はバス ケットの日委員会 バスケットボール 協会	指導者講習会(上級)	行政 競技団体
	能代カップの事前宣伝方法	高校生たちによる	バスケット×生涯スポーツ～専門家 育成(ストレングス・アスレチ ックトレーナー)	競技団体
大幅な調整が 必要なこと (長期)	能代工業高校以外の高校チーム の応援体制	商店会別の応援 は?		
	殿堂を作る～バスケット資料館・博 物館・図書館…の併設	設立委員会～運 営主体を募集	専用体育館の建設～北高跡地の 体育館だけではなく バスケット×人づくり～指導者、ボラン ティアスタッフ、コーチ、レフリー	行政 競技団体

ゴール 実現度	②バスケットで誰でも集えること			
	実現させたい取組	望ましい実施主体	実現させたい取組	望ましい実施主体
すぐに できそうなこと (短期)	(常にバスケットの試合ができる)	—	bjチームによる(オフシーズン)選手のためのクリニック～年3回	行政 競技団体
	合宿施設(アリナス)をPRする	アリナス	競技者を増やし、指導者を育成し、練習できる環境を作る	競技団体
	上級指導者講習会を毎年開催する(有料、2～3日間)	アリナス	中学校での外部指導者の活用	行政 競技団体
	健康フリースロー大会開催、400オバスケット試行～定期開催	企画者	バスケット×オープンスペース～環境(バスケットコート)	行政
	バスケット+支援制度		北高体育館の活用	行政
	・バスケット観戦 ・人のつながりを作る ・能代カップでの無料休憩所サービス		指導者・審判講習会の充実～回数を増やす(各カテゴリーで)	競技団体
	能代工業熱烈応援		専用アリーナの募金活動	行政 競技団体 市民
	みんなのバスケットのボランティア	能代工業高校	募金集め～各種大会・行事での協力金、プログラム売上	競技団体 行政
	バスケットボランティアの統率or組織化～ボランティアの運営体験してもらい、バスケット部以外の生徒がバスケットの街のしりを体感	高校生	バスケット×健康～生涯スポーツとしてのバスケット フリースロー等の記録を競う	行政 競技団体 競技団体
	大会参加チームへのサービス強化～水・氷・飲み物・簡単医薬品の宅配サービス、体育館にサービス企業の連絡先を提示		バスケット×お年寄り～年齢別大会 ビデオ鑑賞の場～年代別、種目別(ミニ・中・高・一般・プロ)	競技団体 行政 行政
調整がつけば できそうなこと (中期)	1人で来てもバスケットができる(相手を探せる)ように、試合をコーディネートする↓	アリナス+NPO	バスケット神社	
	話題性のある旅行企画～能代工業高校の練習に参加できる仕組み、参加チームの募集とPR(ツイッター・フェイスブック・バスケット誌を活用)、オフィシャル審判員の確保、コートの確保(アリナス)、チームのレベル申告(コーディネートするときのチームのレベル調整)	NPOの前に実行委員会形式で組織化	コミュサイトを小・中・高・アマとかに分けて、ビデオや画像を投稿できる統括的なサイト(会員制)能代のバスケットサイト	民間 バスケットボール協会
	大会誘致～中学校招待試合	行政 競技団体	能代を取り上げたバスケット本・マンガ～募集する?	民間
	ボランティアスタッフの発掘(募集)～どんな方法で	競技団体 行政	バスケット+標識～バスケット案内	市 警察署 国土交通省
大幅な調整が 必要なこと (長期)	試合の経費はチームが負担～ルール化する	アリナス+NPO	バスケット×競技力～大学・専門学校設立	行政
	(弱いチームでも試合ができる)	—		
	(宿泊施設のキャバがある)	—		
	400オバスケット	バスケットサポーターズのしり		

ゴール 実現度	③バスケで地域が潤えること			
	実現させたい取組	望ましい実施主体	実現させたい取組	望ましい実施主体
すぐに できそうなこと (短期)	(観光資源がある)	—	車イスバスケの合宿～実施済	
	みやげ品を開発する		バスケ割引(公施設)～バスケでの利用を割引く	市
	新しい名物～食、場所、物		↑利益転用	—
調整がつけば できそうなこと (中期)	食も必要 ・バスケバーガー ・バスケだまこ～ロヘシュート ・ダンク焼そば ・バスケチャーハン ・バスケ丼～器がボールの半分の形	商工会議所 飲食業界	体育館のネーミングライツ(ex)ナイキアリーナ、収入確保	市
	能工の栄光を形に残す	新たにNPO	バスケチーム支援制度(遠征費etc)～スポンサーされた合同合宿企画の恒例化	民間・企画会社
	功績のあった人のバスケ記念館を整備する	新たにNPO	ボールをイメージしたお菓子～募集、コンテスト	商工会議所 市観光振興課?
	ウォーク・オブ・フェームを通りに作る	新たにNPO		
大幅な調整が必要なこと (長期)	バスケ×文化 ・イラストコンテスト ・バスケポスターコンテスト バスケ×音楽 コンテスト形式で公募	新たにNPO	空店舗バスケ活用支援制度	商工会議所 市
	イベントとコラボし、バスケ映画祭を開催する	新たにNPO		
	まとめて売る場所	行政と民間の協働		
	道の駅にバスケコーナーつくる	行政と民間の協働		

ゴール 実現度	④バスケが街なかで感じられること			
	実現させたい取組	望ましい実施主体	実現させたい取組	望ましい実施主体
すぐに できそうなこと (短期)	(外から人を呼べるまち～来てもらえる?)	－	バスケ応援歌、音頭～替え歌、テーマ曲決定、作曲	
	バスケの街の案内人	まち歩き案内人の会	バスケ名言ストリート臨時作成、整備	商店会 市
	能代バスケストリート	行政	防犯、交通安全～バスケキャンペーン	
調整がつけば できそうなこと (中期)	人が動くこと、呼び込むことを行う	新たに実行委員会	バスケ×生涯学習～全日本監督クラス定期講演会(講話)	
	街なかのイベントを増やす	新たに実行委員会	バスケ音頭	
	フリースロー大会	バスケサポーターズのしろ	バスケロード バスケ通り	商店会 市
	ふるさと教育などを活用する	+小・中・高等学校	市内の街灯もバスケゴールにする	
			(来訪者が市内の宿泊施設を利用)	－
大幅な調整が 必要なこと (長期)	(能代のよさを言える)	+小・中・高等学校	バスケ+CM	
	(オススメを3つ以上言える)	－		
	(高校卒業後に最高のPR大使が全国へちらばる)	－		
	夏祭りに柳町で3on3	新たに実行委員会		
	おなごリフェスの日中イベントとして3on3	新たに実行委員会		
	渋谷バスケストリートとの連携イベント	新たに実行委員会		
	オフにNHと渋谷に出向きPRし、交流を続ける	新たに実行委員会		

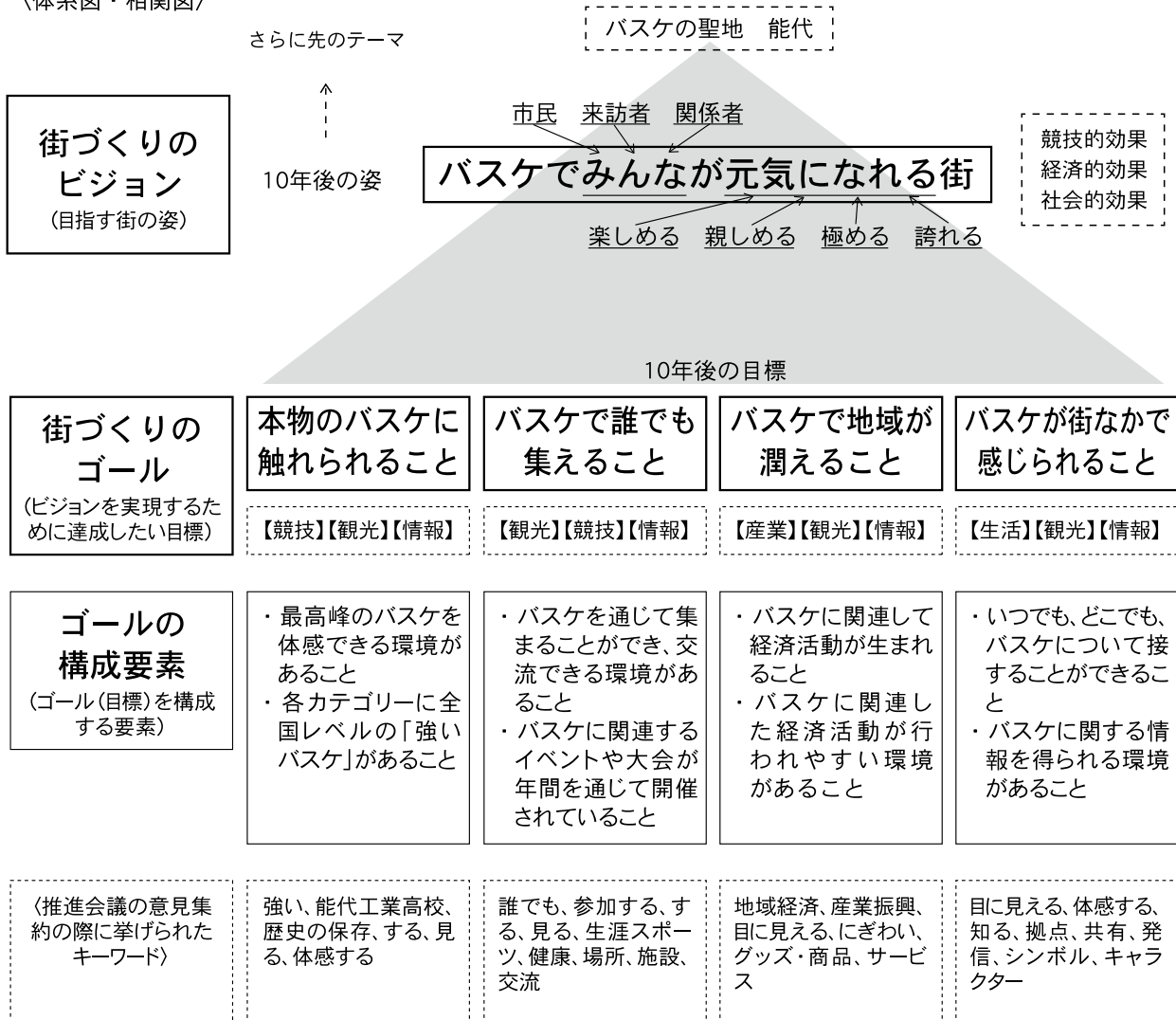
(仮称) 能代市バスケットの街づくり推進計画の骨子

1. 計画の期間 平成24年度から平成33年度までの10年間
2. 計画の構成 街づくりの「ビジョン」「ゴール」「取組」で構成
 - ・「ビジョン」は、目指す街の姿
 - ・「ゴール」は、ビジョンを実現するために達成したい目標
 - ・「取組」は、ゴールに向かって取り組みたいこと
3. 計画の大綱

ビジョン：「バスケットでみんなが元気になれる街」を目指します

ゴール：「本物のバスケットに触れられること」
 「バスケットで誰でも集えること」
 「バスケットで地域が潤えること」
 「バスケットが街なかで感じられること」を目標とします

〈体系図・相関図〉



*「聖地」：①神・仏・聖人や宗教の発祥などに関係が深く、神聖視されている土地。②特定の分野において重要な場所。あこがれの場所。
 *「本物」：①にせものや作りものでない、本当のもの。また、本当のこと。②見せかけでなく実質を備えていること。本格的であること。

○委員名簿

	氏 名	主な所属団体等	備考
バスケットによる街づくり活性化分科会	伊 藤 行 輝	能代商工会議所青年部	
	大 塚 満 彦	有限会社リアルタイム	分科会長
	小 野 志保子	柳町女性会	副分科会長
	金 谷 正 子	能代工業高校バスケットボール部下宿経営	
	菊 地 悠 悦	二ツ井町商工会青年部	
	菊 地 慶 隆	能代バスケットボールグッズ専門店N B C	
	佐 藤 善 勝	能代商工会議所	委員長
	関 戸 優	能代物産振興会	
	高 橋 武 浩	二ツ井町観光協会	
	塚 本 民 雄	能代観光協会	
	七 尾 昌 樹	二ツ井町商工会	
街づくりによるバスケット活性化分科会	石 井 一 生	12月21日はバスケットボールの日！委員会（公募）	分科会長
	加 賀 純 子	能代工業高校バスケットボール部OB会事務局	
	児 玉 晴 夫	秋田SVハピネッツ	
	小 山 佳代子	能代市ボランティア連絡協議会	
	佐 藤 智 一	合同会社ゴーゴーウェブマーケット	
	珍 田 革	能代まちづくり合同会社	
	藤 田 徹 平	社団法人能代青年会議所	副分科会長
	保 坂 能 見	有限会社バスケットの街能代企画	
	渡 部 貴枝子	代々木会	
バスケットボール競技の振興分科会	安 保 敏 明	秋田県立能代工業高等学校	副分科会長
	石 井 慎 二	能代市山本郡ミニバスケットボール連盟	分科会長
	板 橋 久 和	能代市バスケットボール協会	副委員長
	大 高 一 夫	能代山本スポーツリゾートセンターアリナス	
	大 塚 久美子	能代バスケットクラブ	
	大 場 清 悦	秋田プロバスケットボールクラブ株式会社	
	高 橋 秀 之	秋田県スポーツ科学センター	
	畠 山 雅 樹	能代市中学校体育連盟	
	松 岡 修 蔵	二ツ井町バスケットボール連盟	
	米 川 佳奈子	秋田県バスケットボール協会審判審査委員	

○会議開催状況

- 第1回：平成23年 7月19日(火) 能代市総合体育館研修室
- 第2回：平成23年 8月30日(火) 能代山本広域交流センター第1研修室
- 第3回：平成23年 9月27日(火) 働く婦人の家軽運動室
- 第4回：平成23年10月25日(火) 中央公民館第5研修室
- 第5回：平成23年11月15日(火) 能代山本広域交流センター第1研修室
- 第6回：平成23年11月28日(月) 中央公民館視聴覚室

IV. 「バスケの街づくり」新計画の方向性の検討結果

「バスケの街づくり」新計画の方向性の検討結果について

平成23年 4 月

(仮称) バスケの街づくり推進会議準備会

1 新計画の方向性の検討にあたって

平成23年度の「バスケの街づくり」新計画の策定にあたり、(仮称) バスケの街づくり推進会議の準備会として、平成22年10月から平成23年 4 月にかけて、4 回にわたり計画の方向性を検討した。

検討にあたっては、現行計画の取組状況や目安となる指標、実態調査結果や市民からの意見・提言などを参考にしながら、「競技力向上」「地域活力」「市民文化」の3つの視点で協議を進めた。

2 新計画の方向性の検討結果

新計画の方向性として重要と思われるものについて、全般的な事項、3つの視点における事項として、それぞれ下記のとおり取りまとめた。

なお、検討過程で協議された内容は、別紙のとおりである。

【全般的に重要な事項】

○「情報共有・発信」と「情報拠点」

団体・機関同士が情報を共有して発信する。情報拠点となる場を確保する。

○「推進体制」と「連携」

推進体制（組織）をつくる。団体・機関同士が連携する。

○「能代カップ」の位置づけ

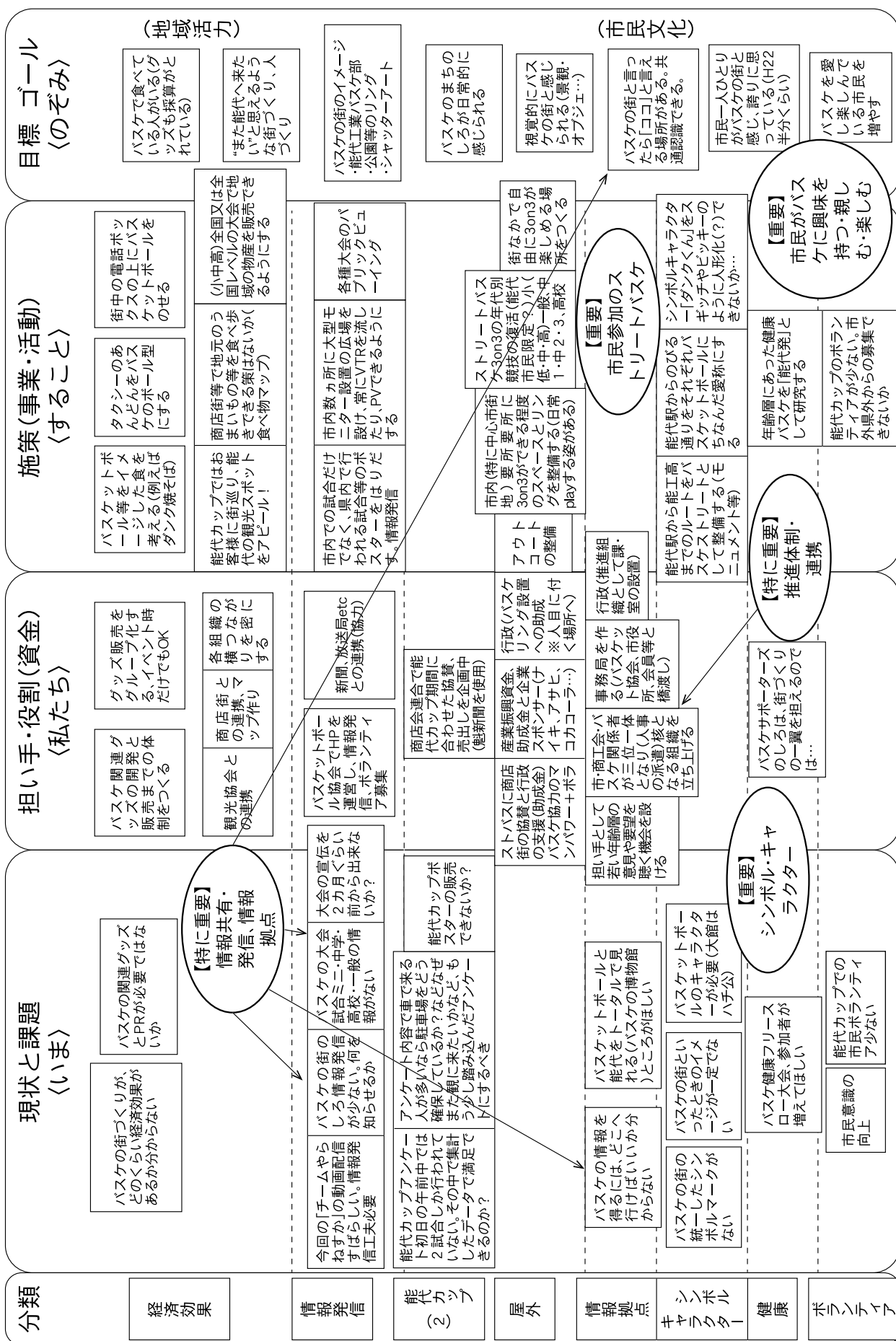
恒例となっている「能代カップ」をまちづくりの観点で位置づけする。

【3つの視点において重要な事項】

○強いバスケ、そのための指導者育成（競技力向上）

○全国にPRできるバスケ、そのためのシンボルやキャラクター（地域活力）

○市民が楽しめるバスケ、そのための市民参加のストリートバスケ（市民文化）



○委員名簿

(50音順)

氏 名	主な所属団体等	備考
安 保 敏 明	秋田県立能代工業高等学校	
石 井 慎 二	能代市山本郡ミニバスケットボール連盟	
板 橋 久 和	能代市バスケットボール協会	副座長
大 高 一 夫	能代山本スポーツリゾートセンターアリナス	
小 野 志保子	柳町女性会	
佐 藤 善 勝	能代商工会議所	座長
塚 本 民 雄	能代観光協会	
七 尾 昌 樹	二ツ井町商工会	
畠 山 一 昭	二ツ井町観光協会	
畠 山 雅 樹	能代市中学校体育連盟	
松 岡 修 蔵	二ツ井町バスケットボール連盟	
渡 部 貴枝子	代々木会	

○会議開催状況

- 第1回：平成22年10月19日(火) 中央公民館視聴覚室
 第2回：平成23年 2月 1日(火) 中央公民館視聴覚室
 第3回：平成23年 2月22日(火) 中央公民館第2研修室
 第4回：平成23年 4月12日(火) 中央公民館視聴覚室

V. 新バスケの街のしろ推進計画検証の目安となる指標

◆「競技力向上」の視点

1. スポーツ少年団におけるミニバスケットボール団体数・団員数

【団体数】 (単位：団体)

年度	団全体	バスケ 単一①	割合①	バスケ 複合②	割合②	バスケ 計	割合
H18	44	2	4.5%	11	25.0%	13	29.5%
H19	46	2	4.3%	11	23.9%	13	28.3%
H20	43	2	4.7%	9	20.9%	11	25.6%
H21	44	4	9.1%	8	18.2%	12	27.3%
H22	43	4	9.3%	8	18.6%	12	27.9%
H23	42	4	9.5%	6	14.3%	10	23.8%

※複数種目の団もあるため、①ミニバスだけの団、②ミニバスを含む団、とした。

【団員数】 (単位：人)

年度	男子			女子			計		
	団全体	バスケ	割合	団全体	バスケ	割合	団全体	バスケ	割合
H18	931	165	17.7%	462	174	37.7%	1,393	339	24.3%
H19	965	171	17.7%	514	132	25.7%	1,479	303	20.5%
H20	887	175	19.7%	535	154	28.8%	1,422	329	23.1%
H21	839	189	22.5%	473	132	27.9%	1,312	321	24.5%
H22	836	139	16.6%	452	127	28.1%	1,288	266	20.7%
H23	789	147	18.6%	417	135	32.4%	1,206	282	23.4%

※複数種目の団もあるため、実態に近いと思われる教育長杯ミニバスケットボール交流大会の参加者数とした。

(参考) 団体数と同じ条件でみた団員数 (単位：人)

年度	団全体	バスケ 単一①	割合①	バスケ 複合②	割合②	バスケ 計	割合
H22	1,288	108	8.4%	533	41.4%	641	49.8%
H23	1,206	99	8.2%	388	32.2%	487	40.4%

※複数種目の団は団員数が多い傾向にあるため、計算上は割合が高くなるが、実態とは異なる面がある。

2. 中学校部活動でバスケットボール部のある学校数・部員数

【学校数】 (単位：校)

年度	男子			女子			全体		
	全学校	バスケ	割合	全学校	バスケ	割合	全学校	バスケ	割合
H22	7	5	71.4%	7	5	71.4%	7	6	85.7%
H23	7	5	71.4%	7	5	71.4%	7	6	85.7%

※男子バスケ部が無いのは、能代東中・常盤中、女子バスケ部が無いのは、東雲中・常盤中。

【部員数】 (単位：人)

年度	男子			女子			計		
	全生徒	バスケ	割合	全生徒	バスケ	割合	全生徒	バスケ	割合
H22①	839	103	12.3%	709	55	7.8%	1,548	158	10.2%
H22②	777	103	13.3%	465	55	11.8%	1,242	158	12.7%
H23①	825	108	13.1%	731	52	7.1%	1,556	160	10.3%
H23②	771	108	14.0%	463	52	11.2%	1,234	160	13.0%

※「全生徒」欄は、①は全生徒数、②はスポーツ部所属の生徒数、とした。

3. ミニバスケットボール指導者数 (単位：人)

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23
指導者	54	63	56	60	68	43

※複数種目の団もあるため、実態に近いと思われる教育長杯ミニバスケットボール交流大会での指導者数とした。

4. 能代市内でのバスケットボール競技の大会・参加チーム数（総体・新人戦等公式戦を除く）

【ミニバス】 (単位：チーム)

年度	①能代カップミニバスケットボール交流大会（5月） ※H23は8月開催			②きみまちカップミニバスケットボール大会（6月）			③クリスマスバスケットボール大会（12月）		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
H18	15	17	32	0	12	12	11	26	37
H19	14	20	34	0	12	12	19	27	46
H20	12	12	24	0	10	10	21	23	44
H21	13	17	30	4	10	14	22	25	47
H22	17	15	32	5	5	10	22	27	49
H23	11	10	21	5	5	10	20	27	47
年度	④教育長杯ミニバスケットボール交流大会（1月）			⑤アリナス杯ミニバスケットボール交流大会（2月）			⑥二ツ井バスケットボール交流大会（1～3月） ※H19まで佐藤英二杯		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
H18	16	16	32	9	18	27	0	4	4
H19	14	13	27	9	18	27	0	4	4
H20	17	14	31	8	19	27	0	4	4
H21	17	14	31	9	15	24	3	3	6
H22	14	14	28	9	16	25	0	0	0
H23	13	11	24	8	14	22	3	3	6
年度	ミニバス 計（延べ）								
	男子	女子	計						
H18	51	93	144						
H19	56	94	150						
H20	58	82	140						
H21	68	84	152						
H22	67	77	144						
H23	60	70	130						

【中学校】

(単位：チーム)

年度	①東北電力旗能代市山本郡 中学校バスケットボール 大会（8月）			②クリスマスバスケットボ ール大会（12月）			③アリナス杯中学校バスケ ットボール交流大会（2月）		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
H18	9	9	18	6	5	11	10	10	20
H19	9	9	18	5	4	9	9	10	19
H20	9	9	18	7	5	12	10	10	20
H21	9	10	19	6	5	11	9	10	19
H22	8	9	17	5	5	10	8	9	17
H23	8	8	16	5	3	8	9	10	19
年度	④二ツ井町バスケットボー ル交流大会（1～3月） ※H19まで佐藤英二杯			中学校 計（延べ）					
	男子	女子	計	男子	女子	計			
H18	3	3	6	28	27	55			
H19	3	3	6	26	26	52			
H20	3	3	6	29	27	56			
H21	3	3	6	27	28	55			
H22	0	0	0	21	23	44			
H23	3	3	6	25	24	49			

【高校】

(単位：チーム)

年度	能代カップ高校選抜バスケ ットボール大会（5月）		
	男子	女子	計
H18	6	4	10
H19	5	4	9
H20	6	5	11
H21	6	5	11
H22	6	4	10
H23	6	5	11

【一般・熟年】

(単位：チーム)

年度	①花見バスケットボール大 会（4月）			②加藤廣志杯熟年パワーバ スケットボール大会（10月）			③クリスマスバスケットボ ール大会（12月）		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
H18	25	5	30	12	5	17	29	10	39
H19	23	5	28	12	4	16	35	8	43
H20	22	6	28	12	4	16	34	8	42
H21	17	6	23	12	3	15	30	9	39
H22	17	7	24	14	3	17	28	5	33
H23	15	4	19	15	3	18	32	7	39
年度	④二ツ井町バスケットボー ル交流大会（1～3月） ※H19まで佐藤英二杯			一般・熟年 計（延べ）					
	男子	女子	計	男子	女子	計			
H18	2	2	4	68	22	90			
H19	2	2	4	72	19	91			
H20	2	2	4	70	20	90			
H21	2	2	4	61	20	81			
H22	0	0	0	59	15	74			
H23	2	0	2	64	14	78			

◆「地域活力」の視点

5. 能代カップ高校選抜バスケットボール大会の観客数（3日間）

（単位：人）

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23
観客数	7,934	7,862	7,440	7,335	6,463	5,339

6. アリナスにおけるバスケットボール合宿の団体数・延べ日数・人数

（単位：団体／日／人）

区分	H18			H19			H20			H21			H22		
	団体	日数	人数	団体	日数	人数	団体	日数	人数	団体	日数	人数	団体	日数	人数
①ミニ	8	9	267	4	4	163	5	5	116	13	13	347	13	13	346
圏域	1	1	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県内	6	6	188	4	4	163	5	5	116	10	10	271	11	11	301
県外	1	2	62	0	0	0	0	0	0	3	3	76	2	2	45
②中学	14	19	419	10	10	175	8	10	226	11	15	266	8	11	213
圏域	0	0	0	1	1	11	0	0	0	2	2	43	0	0	0
県内	6	8	134	8	8	139	6	6	117	8	11	185	6	7	119
県外	8	11	285	1	1	25	2	4	109	1	2	38	2	4	94
③高校	12	26	791	9	20	526	1	1	29	8	13	252	7	10	195
圏域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県内	5	9	246	3	5	86	0	0	0	3	6	84	4	6	101
県外	7	17	545	6	15	440	1	1	29	5	7	168	3	4	94
④大学	2	3	59	5	9	191	3	8	152	1	2	37	0	0	0
圏域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県内	1	1	20	4	5	103	2	3	52	1	2	37	0	0	0
県外	1	2	39	1	4	88	1	5	100	0	0	0	0	0	0
⑤一般	0	0	0	1	1	14	1	1	12	2	4	71	2	4	107
圏域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県内	0	0	0	1	1	14	1	1	12	1	1	8	0	0	0
県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	63	2	4	107
計	36	57	1,536	29	44	1,069	18	25	535	35	47	973	30	38	861
圏域	1	1	17	1	1	11	0	0	0	2	2	43	0	0	0
県内	18	24	588	20	23	505	14	15	297	23	30	585	21	24	521
県外	17	32	931	8	20	553	4	10	238	10	15	345	9	14	340

7. 「バスケの街」に関する能代市内の商標登録数

（登録日順）

	商 標	権利者	商品・役務等	登録年
①	バスケの街	㈱セキト	菓子及びパン	昭和61年
②	必勝不敗	㈲バスケの街能代企画	ストラップ、布製品ほか	平成14年
③	籠球王国 能代	㈲バスケの街能代企画	ストラップ、布製品ほか	平成14年
④	必勝不敗	㈲バスケの街能代企画	紙類、プラスチック製品ほか	平成15年
⑤	バスケの街のしろ	能代市	興行等の企画・運営又は開催	平成15年
⑥	バスケの街命水	浅田嘉美	飲料ほか	平成15年

※特許庁の無料商標検索サービスで検索した。

◆「市民文化」の視点

8. プロバスケットボールリーグ等開催時の観客数

【ＪＢＬ】 (単位：人)

年度	観客数	開催日	対戦カード
H15	2,500	2003.11.15	トヨタ自動車－新潟
		2003.11.16	トヨタ自動車－新潟／北陸電力－日立電線
H16	1,500	2004.12.10	日立－ＯＳＧ
H17	1,000	2005.12.24	トヨタ自動車－福岡

【ＷＪＢＬ】 (単位：人)

年度	観客数	開催日	対戦カード
H22	1,200	2011. 1.29	富士通レッドウェーブ－日本航空ＪＡＬラビッツ

【ｂｊリーグ】 (単位：人)

年度	観客数	開催日	対戦カード
H22	2,750	2010.12. 4	秋田ノーザンハピネッツ－京都ハンナリーズ
	2,694	2010.12. 5	

9. 能代カップの一般ボランティア参加者数

(単位：人数)

区分	H18	H19	H20	H21	H22	H23
①会場整理等	16	13	10	26	15	42
一般	4	4	5	3	2	3
学生（高校生等）	12	9	5	23	13	39
②写真記録等				5	17	85
一般				2	3	1
学生（高校生）				3	14	84
計	16	13	10	31	32	127
一般	4	4	5	5	5	4
学生（高校生等）	12	9	5	26	27	123

(参考) 市職員ボランティア参加者数

(単位：人数)

区分	H18	H19	H20	H21	H22	H23
①会場整理等	13	15	15	38	35	33
②写真記録等				1	1	1

10. バスケットの街を他に誇れると思う市民の割合

区分	H19	H20	H21	H22	H23
①思う	47.3%	39.5%	29.5%	23.8%	22.0%
②どちらかといえば思う	26.3%	30.4%	31.5%	27.2%	23.8%
③どちらともいえない	14.7%	15.5%	19.1%	24.0%	28.2%
④どちらかといえば思わない	3.6%	5.3%	9.0%	10.2%	10.5%
⑤思わない	4.7%	4.2%	8.2%	11.2%	12.8%
⑥わからない・未記入	3.4%	5.1%	2.7%	3.6%	2.7%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

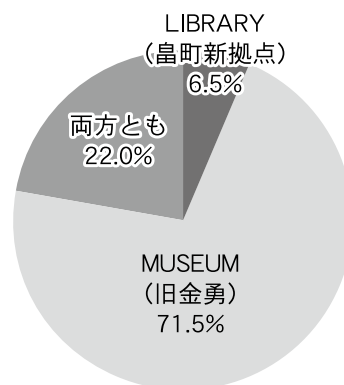
※各年度の市民意識調査より。

VI. 能代バスケットボール LIBRARY & MUSEUM 「インターハイ特別展示」アンケート調査結果

【開催時期】平成23年7月27日(水)～8月2日(火) ※旧金勇は7月28日(木) 29日(金)で約400人が来場

1. 訪問した会場	回答数	割合
1 LIBRARY (畠町新拠点)	8	6.5%
2 MUSEUM (旧金勇)	88	71.5%
3 両方とも	27	22.0%
計	123	100.0%

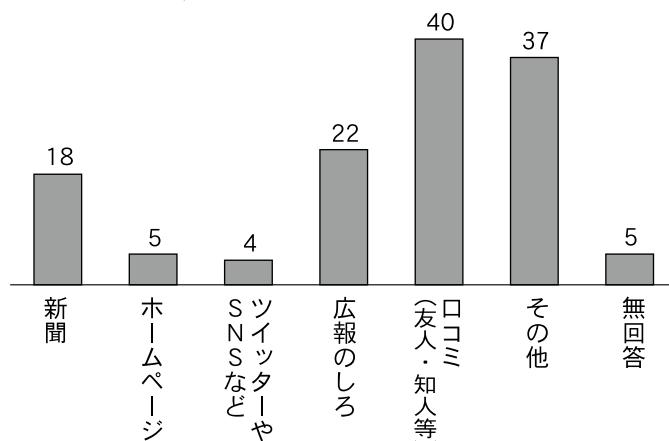
1. 訪問した会場



2. 展示を知ったきっかけ	回答数
1 新聞	18
2 ホームページ	5
3 ツイッターや SNS など	4
4 広報のしろ	22
5 口コミ (友人・知人等)	40
6 その他	37
無回答	5

※ 複数回答可

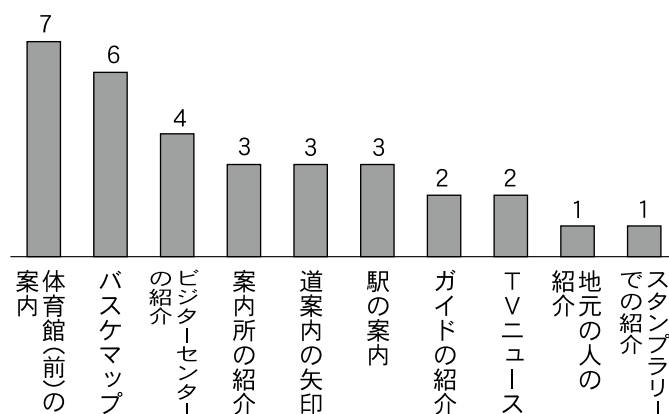
2. 展示を知ったきっかけ



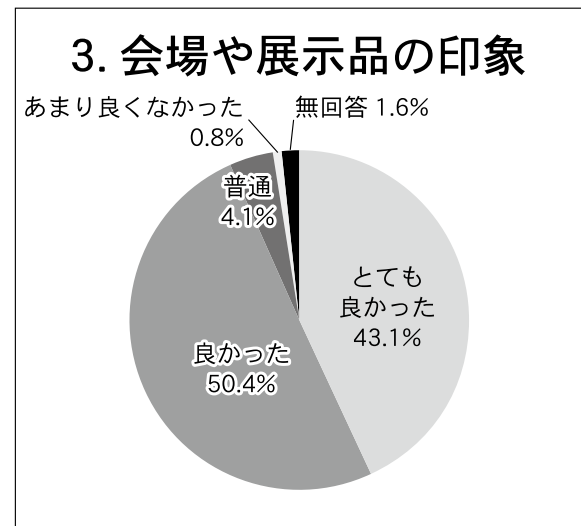
1 新聞の内訳 (記入あり)	回答数
北羽新報	8
秋田魁新報	3

6 その他の内訳 (記入あり)	回答数
体育館 (前) の案内	7
バスケマップ	6
ビジターセンターの紹介	4
案内所の紹介	3
道案内の矢印	3
駅の案内	3
ガイドの紹介	2
TVニュース	2
地元の人への紹介	1
スタンプラリーでの紹介	1

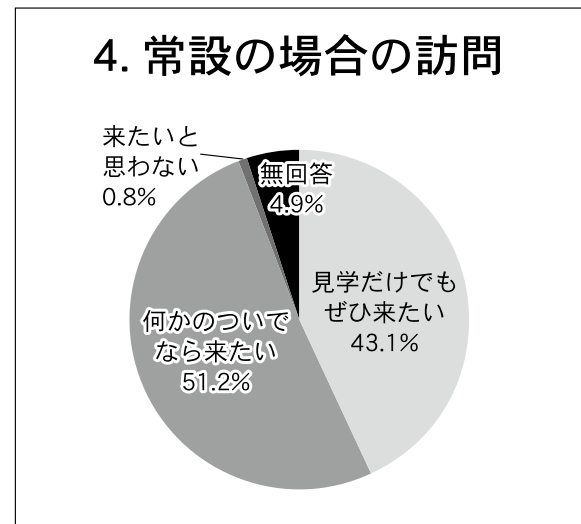
その他の内訳 (記入あり)



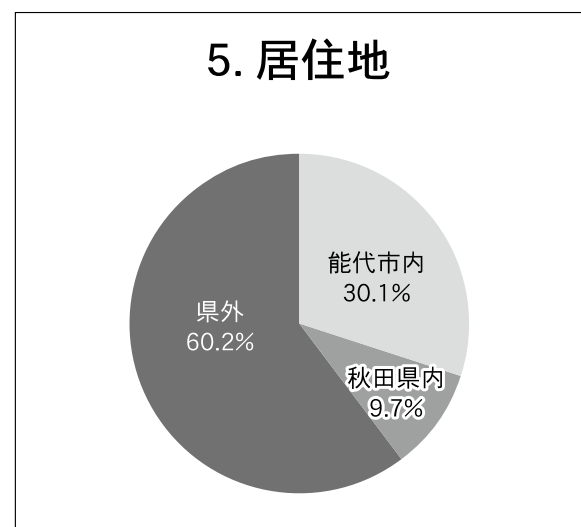
3. 会場や展示品の印象	回答数	割合
1 とても良かった	53	43.1%
2 良かった	62	50.4%
3 普通	5	4.1%
4 あまり良くなかった	1	0.8%
5 良くなかった	0	0.0%
無回答	2	1.6%
計	123	100.0%



4. 常設の場合の訪問	回答数	割合
1 見学だけでもぜひ来たい	53	43.1%
2 何かのついでなら来たい	63	51.2%
3 来たいと思わない	1	0.8%
4 どちらともいえない	0	0.0%
無回答	6	4.9%
計	123	100.0%

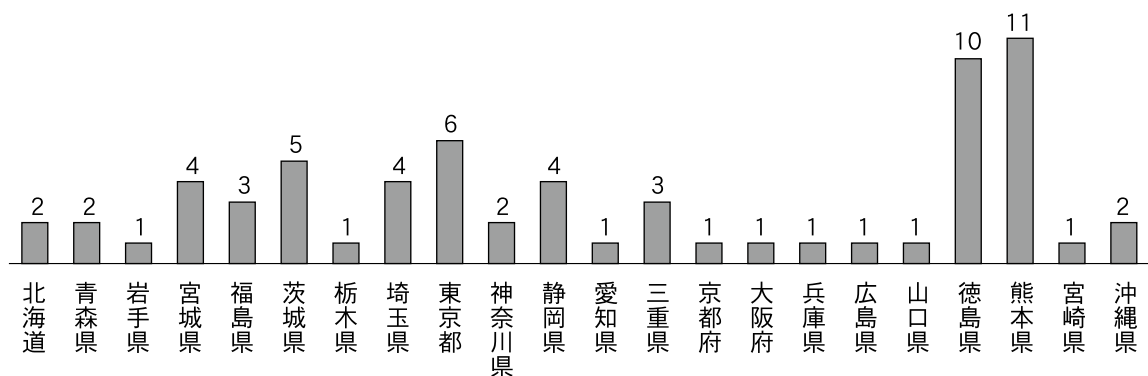


5. 居住地	回答数	割合
1 能代市内	37	30.1%
2 秋田県内	12	9.7%
3 県外	74	60.2%
計	123	100.0%



3 県外の内訳（記入あり）	回答数
北海道	2
青森県	2
岩手県	1
宮城県	4
福島県	3
茨城県	5
栃木県	1
埼玉県	4
東京都	6
神奈川県	2
静岡県	4
愛知県	1
三重県	3
京都府	1
大阪府	1
兵庫県	1
広島県	1
山口県	1
徳島県	10
熊本県	11
宮崎県	1
沖縄県	2

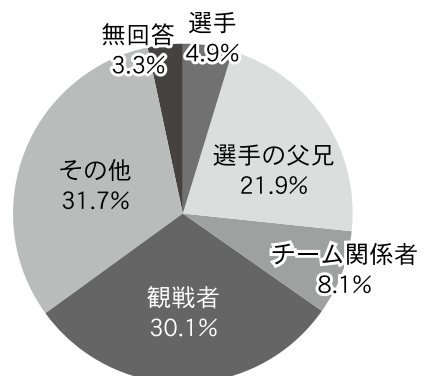
県外の内訳（記入あり）



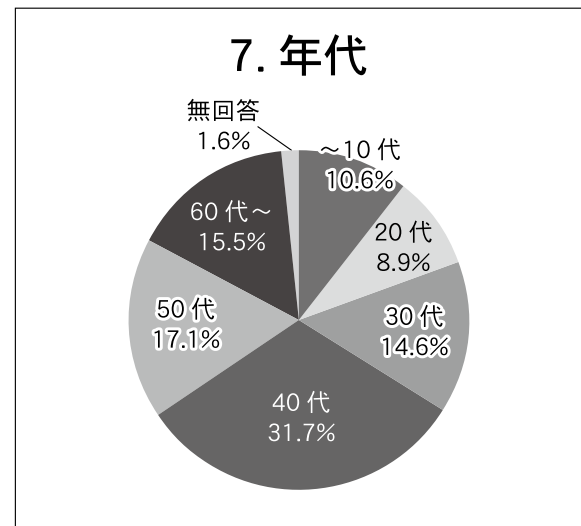
6. 立場	回答数	割合
1 選手	6	4.9%
2 選手の父兄	27	21.9%
3 チーム関係者	10	8.1%
4 観戦者	37	30.1%
5 その他	39	31.7%
無回答	4	3.3%
計	123	100.0%

「その他」の人の居住地	回答数
能代市内	24
秋田県内	4
県外	11
計	39

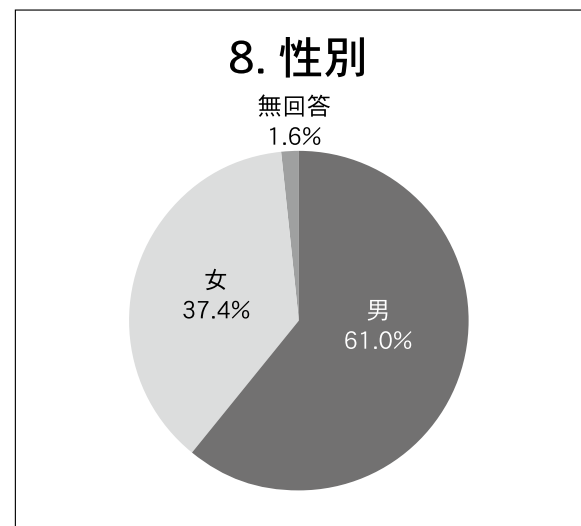
6. 立場



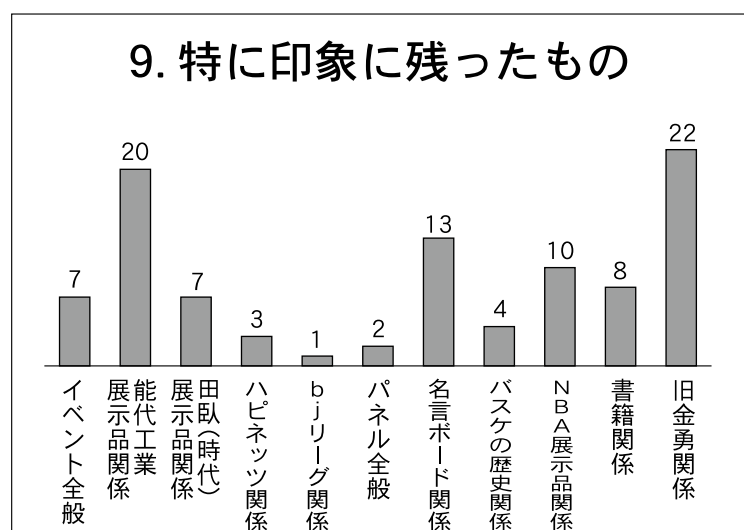
7. 年代	回答数	割合
1 ~10 代	13	10.6%
2 20 代	11	8.9%
3 30 代	18	14.6%
4 40 代	39	31.7%
5 50 代	21	17.1%
6 60 代～	19	15.5%
無回答	2	1.6%
計	123	100.0%



8. 性別	回答数	割合
1 男	75	61.0%
2 女	46	37.4%
無回答	2	1.6%
計	123	100.0%



9. 特に印象に残ったもの	記入数
1 イベント全般	7
2 能代工業展示品関係	20
3 田臥（時代）展示品関係	7
4 ハピネッツ関係	3
5 b j リーグ関係	1
6 パネル全般	2
7 名言ボード関係	13
8 バスケットの歴史関係	4
9 N B A展示品関係	10
10 書籍関係	8
11 旧金勇関係	22



9. 特に印象に残ったもの（抜粋）

1 イベント全般

- ・能代工の展示を金勇でやったところ
- ・街全体がミュージアムで良かった
- ・全部 !!

2 能代工業展示品関係

- ・初めて全国優勝した時の賞状を見て感激しました
- ・能代工バスケ部の歴史や今活躍している OB がわかった
- ・V50 達成時の新聞記事です

3 田臥（時代）展示品関係

- ・昔の田臥の写真
- ・田臥の代の写真
- ・田臥と菊地の並んだ写真

4 ハピネッツ関係

- ・ハピネッツの 4 人の新聞記事と Dr.J のシューズに鳥肌がたちました

5 b j リーグ関係

- ・ISHII のユニホーム

6 パネル全般

- ・パネル展示、選手の実際のユニホームなど

7 名言ボード関係

- ・バスケの選手、コーチたちの言葉
- ・バスケ名言・名言ストリート
- ・名言ボード !!

8 バスケの歴史関係

- ・バスケットの歴史などがよくわかって良かったです

9 N B A 展示品関係

- ・ユニフォームやバスケットシューズの大きさにびっくり !!
- ・リトグラフ
- ・初代ドリームチームの絵

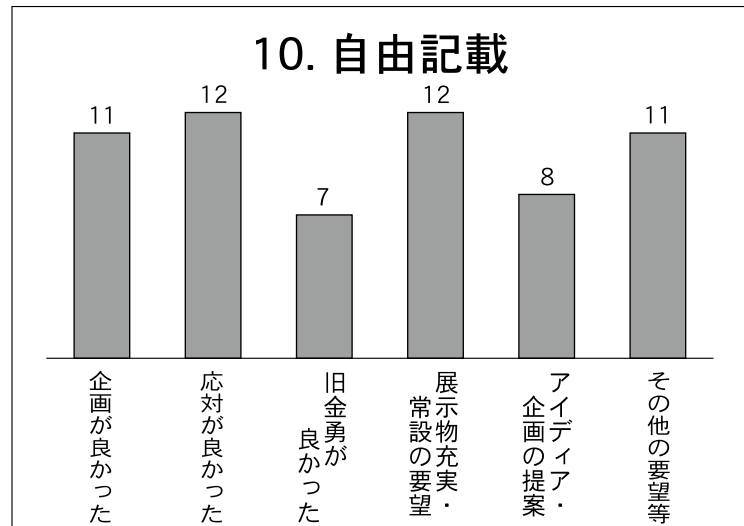
10 書籍関係

- ・NBA の 90 年代のチームデータです。よく見ていた時代ですので
- ・圧巻の資料群 !
- ・田臥選手が好きなので「月刊バスケットボール」は面白かったです

11 旧金勇関係

- ・古い建物が温存されている
- ・天井板（一枚板）、二階和室
- ・床柱には驚きました

10. 自由記載	記入数
1 企画が良かった	11
2 対応が良かった	12
3 旧金勇が良かった	7
4 展示物充実・常設の要望	12
5 アイディア・企画の提案	8
6 その他の要望等	11



10. 自由記載（抜粋）

1 企画が良かった

- ・この方向で充実させていったら、面白いものになると思います。
- ・企画が素晴らしい。
- ・金勇を見て、バスケット資料も見れて良かった。

2 対応が良かった

- ・案内がわかりやすく親切で良かったです。
- ・係の方が親切に説明していただいたのでわかりやすかったです。
- ・接客が良かった。

3 旧金勇が良かった

- ・古くからきれいに保存されていて、歴史が感じられて良かったです。
- ・建物のおもむきがあって良かった。
- ・金勇を会場にしたのは落ちついて良かった。

4 展示物充実・常設の要望

- ・珍しい展示品が多く、見応えがありました。展示数を増やせばもっと面白くなると思います。
- ・もっと多くの資料、能代工の優勝の歴史など一同に見たい。
- ・ぜひこのような展示を常設してください。

5 アイディア・企画の提案

- ・ユニホームやシューズを提供してくれた選手の等身大パネルがあれば、記念撮影できて面白いかも。
- ・展示物、バスケの選手・コーチの言葉をまとめた簡単な冊子が、見学後に手に入れられたらうれしい。
- ・能代工の歴代監督さんや選手の名言を加えてみてはどうでしょう？

6 その他の要望等

- ・金勇に全部集まったら面白いと思いました。分散されているようで。
- ・2階大広間でも何か展示してほしい。
- ・駐車場の確保や案内があれば見学しやすいです。

Ⅶ. 能代でのバスケットボール強化合宿に関するアンケート調査結果

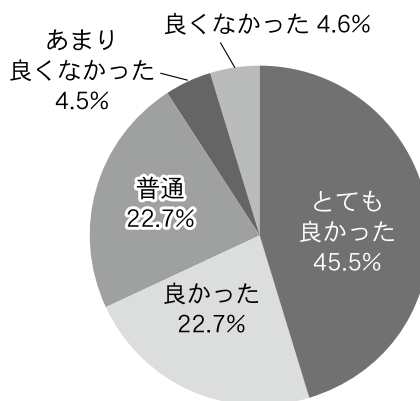
【調査対象】 インターハイに出場した全校（58校、能代工業高校を除く）

【調査方法】 市の高校総体推進室を通して、Eメールにて依頼

【調査時期】 平成23年8月

1. 能代市の全般的な印象	回答数	割合
1 とても良かった	10	45.5%
2 良かった	5	22.7%
3 普通	5	22.7%
4 あまり良くなかった	1	4.5%
5 良くなかった	1	4.6%
計	22	100.0%

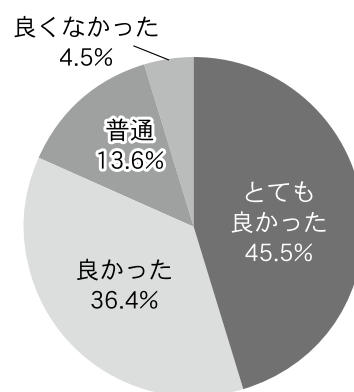
1. 能代市の全般的な印象



2. 宿泊施設の対応	回答数	割合
1 とても良かった	10	45.5%
2 良かった	8	36.4%
3 普通	3	13.6%
4 あまり良くなかった	0	0.0%
5 良くなかった	1	4.5%
計	22	100.0%

※能代市外の宿泊施設も含まれています。

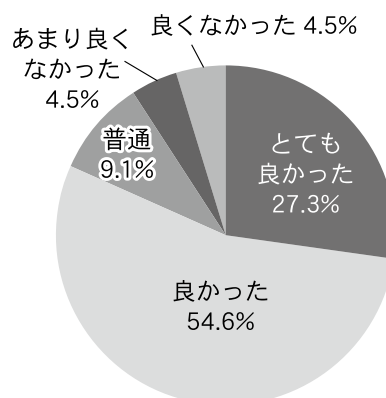
2. 宿泊施設の対応



3. 宿泊施設の食事	回答数	割合
1 とても良かった	6	27.3%
2 良かった	12	54.6%
3 普通	2	9.1%
4 あまり良くなかった	1	4.5%
5 良くなかった	1	4.5%
計	22	100.0%

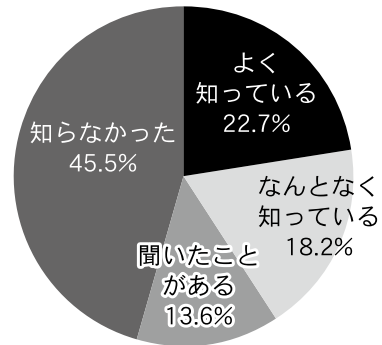
※能代市外の宿泊施設も含まれています。

3. 宿泊施設の食事



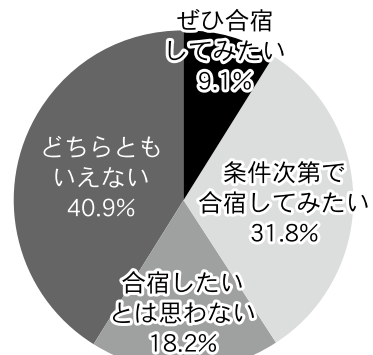
4. アリナスの認知度	回答数	割合
1 よく知っている	5	22.7%
2 なんとなく知っている	4	18.2%
3 聞いたことがある	3	13.6%
4 知らなかった	10	45.5%
計	22	100.0%

4. アリナスの認知度



5. アリナス合宿の可能性	回答数	割合
1 ぜひ合宿してみたい	2	9.1%
2 条件次第で合宿してみたい	7	31.8%
3 合宿したいとは思わない	4	18.2%
4 どちらともいえない	9	40.9%
計	22	100.0%

5. アリナス合宿の可能性



アリナス合宿の条件（自由記載）

1 ぜひ合宿してみたい（北海道1、九州1）

2 条件次第で合宿してみたい（北海道1、関東1、北信越1、近畿1、中国1、四国2）

- ・施設としては素晴らしいと思う。交通手段の確保と金銭的に折り合いがつけば利用したいと思う。また、数校でのゲーム合宿があればぜひ参加したいと思う。（北海道）
- ・金額面（公立学校なので）。他施設の利用。どれくらい(広さ、時間)体育館を使用できるのか。(関東)
- ・あまりにも暑過ぎるため、合宿所として適さないと思うから。（近畿）
- ・四国から行く価値のある試合ができるのなら行くことも考える。（四国）
- ・秋田県能代市で合宿を行うメリットは、やはり能代工業がどうかということではないか。(四国)

3 合宿したいとは思わない（北信越2、近畿1、四国1）

- ・移動時間が長いのと本校の所在地が合宿に適した場所にあるため合宿したいとは思わない。(北信越)
- ・交通事情（遠すぎる）。(近畿)

4 どちらともいえない（関東3、北信越1、中国1、四国1、九州3）

- ・今回、「アリナス」を使用する機会がなかったのと、不明な点があることと、学校規程により200km圏内での合宿の条件があるため非常に難しい状況である。（関東）
- ・環境はとても良いと思うが、こちらから何うのには、遠すぎる。移動時間が何とかなればしてみたいと思う。（関東）
- ・合宿に参加する高校の中で最適なところを中心に実施しているので、公共の会場を利用した合宿は実施していない。（関東）

6.強化合宿の場所を選ぶ条件（自由記載）

（北海道）

- ・予算が少なくなる条件（生徒負担が少なく）。
- ・日程と施設。あとは金額だと思う。

（関東）

- ・気候。金額。
- ・学校規程により200km圏内が合宿の条件。
- ・数チームに参加してもらい、試合形式の合宿を開いている。
- ・各チームが参加するために、各学校の移動時間があまりかからない場所を考える。

（北信越）

- ・学校からの時間的距離が、片道5～6時間以内であり、複数のゲーム相手がいる。
- ・目標となるチームが参加している。

（近畿）

- ・合宿所費用での経済面と暑さ対策等の設備面が整っているかどうか。
- ・交通費・宿泊費が安いこと。宿泊施設・練習会場の周辺条件も含めた利便性。
- ・練習試合を含めた対戦相手が複数いること。

（中国）

- ・もう少し近場の方が都合がいい。

（四国）

- ・環境（気候、食事）、経費、対戦チームのレベル。
- ・体育館はどこでもあるので、体育館プラスグラウンドや浜などトレーニングができる所があるかどうかが必要だと思う。
- ・合宿をするメリットを考える（合宿の相手など）。施設周辺の利便を考える。コストを考える。

（九州）

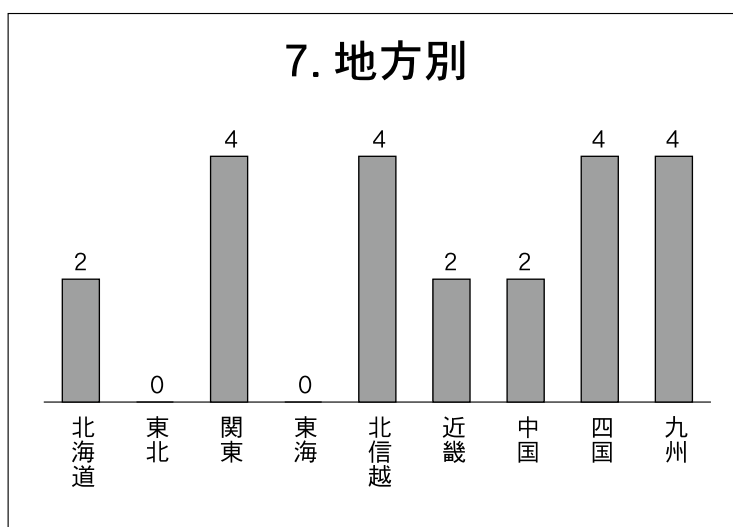
- ・食事の環境が充実していること。早朝より夜間までコートの使用が可能。
- ・グラウンド等、ランニングができる。
- ・練習会場、宿泊施設、食事、立地場所。
- ・公共機関が充実している。スーパーやコンビニ、団体の食事ができる施設等が近隣にある。
- ・金銭的な負担が少なくできる場所。

【まとめ】

強化合宿の場所を選ぶ条件としては、概ね、①経費負担、②施設・設備、③移動時間（距離）、④対戦相手、⑤周辺の利便性、この5点がポイントのようです。食事や気候という条件もありました。

アリナスについては、施設自体の評価は高いですが、冷房設備がないのはマイナスのようです。また、対戦相手（複数）によっては、アリナスで合宿してもいいという学校がある一方で、移動時間（距離）の問題で敬遠されていることが多いようです。

7. 地方別	回答数
1 北海道	2
2 東北	0
3 関東	4
4 東海	0
5 北信越	4
6 近畿	2
7 中国	2
8 四国	4
9 九州	4
計	22





能代市バスケの街づくり推進計画

発 行 能代市

平成 24 年 3 月

編 集 能代市企画部市民活力推進課

〒016-8501 秋田県能代市上町 1 番 3 号

TEL (0185) 89-2212

FAX (0185) 89-1770

E-mail katsuryoku@city.noshiro.akita.jp

